



取扱説明書

PM-3600



ご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
本書はお読みになった後も、いつでも参照できるようにして下さい。

はじめに

重要なお知らせ

- 本書の内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
- マックス株式会社は、本書に記載されている仕様および内容を予告なく変更する権利を保有し、誤植やその他の出版関連の誤りを含む(ただし必ずしもこれに限定されない)記載内容によって生じた、いかなる損害(間接損害を含む)についても責任は負いません。
- 本書に掲載されている画面イメージは、お使いのパソコンのオペレーティングシステム、機種やソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。
- 本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用の前には付属されているすべての文書を必ずお読みください。
- 本書に掲載されている図は、お使いのラベルプリンターと異なる場合があります。

使用可能なマニュアル

弊社ホームページ (<http://www.max-ltd.co.jp/op/>) から最新の取扱説明書をダウンロードするには、「製品サポート」のページから商品を選択してダウンロードをしてください。



かんたん設置ガイド ¹	本機の使用についての基本的な情報と、困ったときの詳しい対処方法、安全情報が記載されています。
取扱説明書 ²	取扱説明書には本機の設定や操作についての追加情報、困ったときの対処方法、お手入れの手順などが記載されています。

¹ 同梱されている紙面のマニュアル

² 同梱のCD-ROMからインストール、または弊社ホームページにてダウンロードが可能です。

本書で使用されている記号

本書では、以下の記号を使用しています：

 重要	この記号は、従っていただく情報や手順を表しています。もし手順に従っていただけない場合は、故障や誤動作の原因となる場合があります。
 メモ	この記号は、本機をよりよく知っていただくための情報や手順、または機能的に使用していただくための情報や手順を表しています。

重要事項

- 本書の Windows Vista[®] は、すべてのバージョンの Windows Vista[®] を表します。
- 本書の Windows[®] 7 は、すべてのバージョンの Windows[®] 7 を表します。
- 本書の Windows[®] 8 は、すべてのバージョンの Windows[®] 8 を表します。
- 本書の Windows[®] 8.1 は、すべてのバージョンの Windows[®] 8.1 を表します。
- 本書の Windows[®] 10 は、Windows[®] 10 Home、Windows[®] 10 Pro、Windows[®] 10 Enterprise、Windows[®] 10 Education を表します。
本書の Windows[®] 10 は、Windows[®] 10 Mobile、Windows[®] 10 Mobile Enterprise、Windows[®] 10 IoT Core を含みません。

目次

第 I 節 基本操作

1	本機を設定する	2
	各部の名称	2
	前面	2
	背面	3
	電源を接続する	4
	テープカセットを装着する	5
	電源を入れる / 切る	7
	テープ送り	7
2	パソコンから印刷する	8
	プリンタードライバとソフトウェアをパソコンにインストールする	8
	本機とパソコンを接続する	8
	USB ケーブルで接続する	8
	パソコンから印刷する	9
	パソコンで利用できるアプリケーション	9
	パソコンから印刷する	10
	ラベルを貼る	12
3	その他のインターフェイスを使用する	13
	プリンタードライバとソフトウェアをパソコンにインストールする	13
	テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する	13
	テンプレートデータをパソコンから本機に登録する	13
	シリアルケーブル変換アダプターで接続する	14
	シリアル (RS-232C) ケーブル	15
	シリアルインターフェイスの設定	15
4	ラベルプリンターの設定を変更する	16
	プリンター設定ツール	16
	印刷設定ツールを使用する前に	16
	プリンター設定ツールを使用する	17
	本体設定	19
	設定ダイアログボックス	19
	メニューバー	21
	基本設定タブ	23
	ラベル設定	24
	複数のラベルプリンターに設定変更を適用する	25
	P-touch Template の設定	26
	P-touch Template 設定ダイアログボックス	27

5 P-touch Template を使用してラベルを印刷する 29

P-touch Template 機能.....	29
事前準備	30
P-touch Template 設定ツールの設定	30
拡張型シリアルポート (RS-232C) の設定	32
バーコードリーダーの接続	33
定型テンプレート印刷機能	34
バーコード作成 (コピー) 印刷機能.....	36
データベース置換印刷機能.....	39
ナンバリング (連番) 印刷機能	42
テキストナンバリング (連番).....	42
バーコードナンバリング (連番).....	43
高度な操作でナンバリング (連番) 印刷をする.....	44

6 その他の機能 45

本機の設定を確認する	45
分散印刷.....	45
高解像度モードでラベルを印刷する	48
高速モードでラベルを印刷する.....	49
品質優先モードでラベルを印刷する	50

第 II 節 アプリケーション

7 ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法 51

P-touch Editor を起動する.....	52
P-touch Editor を使用して印刷する.....	55
ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録する.....	56

8 ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法 57

P-touch Transfer Manager.....	57
P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する.....	58
パソコンからラベルプリンター本体へテンプレートデータを登録する.....	61
すべての登録済みデータを削除する	66
P-touch Library.....	67
P-touch Library を起動する	67
テンプレートデータを開いて編集する	69
テンプレートデータを印刷する.....	70
テンプレートデータを検索する.....	70

第 III 節 付録

9	本機をリセットする	73
	本機のボタンですべての設定を工場出荷時に戻す	73
	プリンター設定ツールでデータをリセットする	73
10	お手入れ	74
	本機外観のお手入れ	74
	印字ヘッドとヘッドローラーのお手入れ	74
	印字ヘッド	75
	ヘッドローラー	75
	テープカッターのお手入れ	76
11	困ったときは	77
	概要	77
	印刷の問題	78
	ラベルの問題	81
	本機の問題	82
	表示ランプについて	84
	表示ランプ警告	86
12	仕様	87
	製品仕様	87
	動作環境	89
13	P-touch Transfer Manager 使用時の注意事項	90
	テンプレートデータ作成時の注意事項	90
	テンプレートデータ転送時の注意事項	90
	テンプレートデータ以外のデータを転送する際の注意事項	91
14	P-touch Template 機能設定用バーコード一覧	92
	P-touch Template 機能基本的な手順	92
	設定用バーコード一覧	93



基本操作

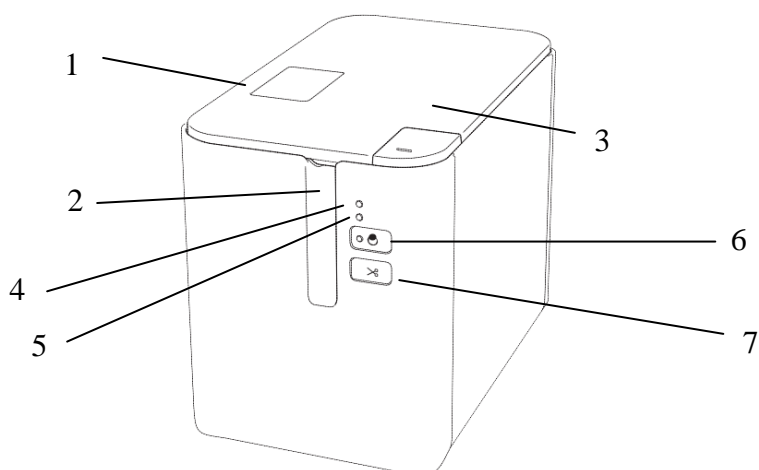
本機を設定する	2
パソコンから印刷する	8
その他のインターフェイスを使用する	13
ラベルプリンターの設定を変更する	16
P-touch Template を使用してラベルを印刷する	29
その他の機能	45

1

本機を設定する

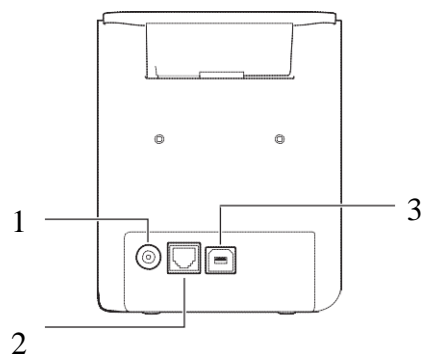
各部の名称

前面



- 1 カバー
- 2 テープ排出口
- 3 カバーオープンボタン
- 4 ステータス表示ランプ
- 5 カバー表示ランプ
- 6 ㊤(電源)ボタン
- 7 ✂(フィード&カット)ボタン

背面



1 ACアダプタージャック

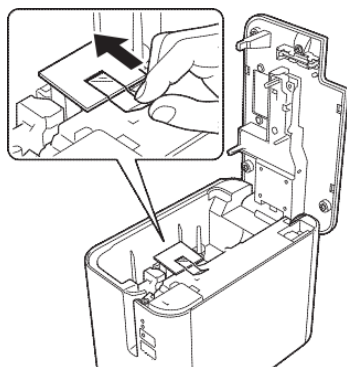
2 拡張型シリアルポート(同梱のシリアルケーブル変換アダプターを使用することで、RC-232C D-sub 9ピンオス型コネクタに変換)

3 USBポート(パソコン接続用)

❗ 重要

本機をご使用になる前に、必ず次の手順で保護材を取り除いてください。

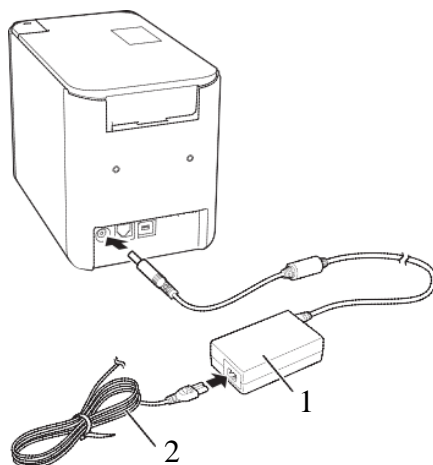
- 1 カバーオープンボタンを押して、カバーを開けます。
- 2 テープを引っ張り、テープと保護材を一緒に取り除いてください。



電源を接続する

本機に付属のACアダプター (PM-AD3600) と電源コードを使用してください。

- 1、ACアダプターを本機のACアダプタージャック (DC IN 24V と刻印されています) に差し込みます。
- 2、電源コードをACアダプターに差し込みます。




1 ACアダプター

2 電源コード

- 3、電源コードを電源コンセントに差し込みます。

❗ 重要

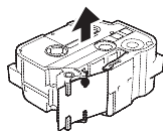
- ACアダプターを抜く前に、本機の電源を切ってください。
- ACアダプターコードや電源コードを引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- 電源コードを電源コンセントに差し込んだあと、数秒待ってから本機の  (電源) ボタンを押して電源を入れてください。

テープカセットを装着する

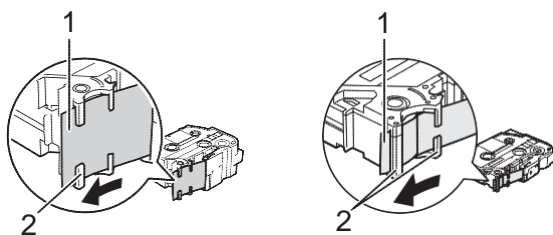
本機は、レタリテープが使用できます。

❗ 重要

テープカセットに紙製のストッパーがついている場合は、取り除いてから装着してください。



1、テープの先端がテープガイドの下を通っていることを確認してください。通っていない場合は、図のようにテープガイドの下を通します。



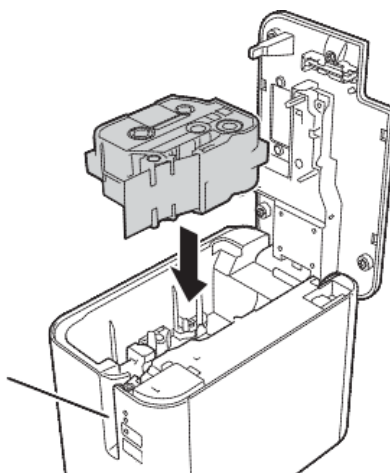
1 テープの先端

2 テープガイド(テープの幅によっては形状が異なります)

2、カバーオープンボタンを押して、カバーを開けます。

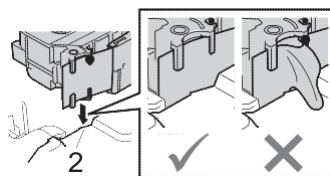
3、テープカセットをテープ装着スペースにテープの先端を本機のテープ排出口に向けて入れ、正しくセットされるまで平らな状態で押し下げます。

テープ排出口



❗ 重要

- テープカセットを装着する際には、テープやインクリボンが印字ヘッドに引っかかっていることを確認してください。
- テープにたるみがないことを確認してから装着してください。テープがたるんでいると、テープを装着する際に本機の突起(2)に引っかかり、曲がったり、しわになったりしてテープ詰まりの原因になる場合があります。
テープがたるんでいたら、テープの先端がテープガイドの下を通った状態で(手順 a の図を参考)、引っ張ってください。
- テープカセットを取り外すときは、テープが本機の突起(2)に引っかかっていることを確認してください。






4、カバーを閉めます。

❗ 重要


- テープカセットは、直射日光、高温、多湿、またはほこりの多い場所を避け、冷暗所に保管してください。また、パッケージを開封したあとは、できるだけ早く使用してください。
- 最小印字長は4 mm です。
(4 mm の位置でのフルカットはできません。フルカットでの最小間隔は22 mm です。)
- 印刷1枚目(連続印刷時は1枚目のみ)の前に22 mm 程度の余白が発生します。

電源を入れる / 切る

オン:  (電源) ボタンを押して、電源を入れます →  (電源) 表示ランプが緑色に点灯します。

オフ:  (電源) ボタンを長押しして、電源を切ります →  (電源) 表示ランプがオレンジ色に点灯する場合があります。

❗ 重要

本機の電源を切る場合は、オレンジ色の  (電源) 表示ランプが消えるまで AC アダプターを取り外さないでください。

テープ送り

❗ 重要

- テープカセットを装着したら、テープやインクリボンのたるみをなくすために、テープ送りを行ってください。
- テープ排出口から印刷されたラベルが排出されたとき、ラベルを引っ張らないでください。ラベルを引っ張ると、インクリボンがテープからはがれてしまい、テープカセットが使用できなくなることがあります。
- 印刷中またはテープ送り中に、テープ排出口をふさがないでください。テープ詰まりの原因になることがあります。

テープ送りとテープカセット

テープ送りとテープカット機能は、テープを約 22.3mm送ったあと、テープをカットします。

✂ (フィード & カット) ボタンを押します。

プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする

パソコンから印刷するには、プリンタードライバー、P-touch Editor、その他のアプリケーションをパソコンにインストールする必要があります。

- 1、同梱のCD-ROMをPCに挿入します。
- 2、画面の手順に従ってインストールを行います。
 - ①インストール対象選択では『MAX PM-3600』を選択します。
 - ②インストール設定情報では、そのまま『OK』を選択します。
 - ③使用許諾契約では、内容をよく読み、同意頂いてから『同意』を選択します。
 - ※「MAX PM-3600セットアップ・・・」が表示された場合は、『次へ』を押します。
 - 「Windows セキュリティ」が表示された場合は、『インストール』を押します。
 - 「オンラインユーザー登録・・・」が表示された場合、
すぐにユーザー登録をする場合は『OK』
あとでユーザー登録をする場合は『キャンセル』を押します
 - ④インストールが完了したら『完了』を押して、ウィンドウを閉じます。

本機とパソコンを接続する

USB ケーブルで接続する

- 1、USB ケーブルを接続する前に、本機の電源が入っていないことを確認してください。
- 2、USB ケーブルのプリンター側を本機背面の USB ポートに接続します。
- 3、USB ケーブルの反対側をパソコンの USB ポートに接続します。
- 4、本機の電源を入れます。

パソコンから印刷する

パソコンで利用できるアプリケーション

本機を活用するために、様々なアプリケーションや機能が利用できます。

これらのアプリケーションを利用するには、プリンタードライバーをインストールする必要があります。
アプリケーションやプリンタードライバーは同梱のCD-ROMからインストールします。

アプリケーション	機能
P-touch Editor	本機からラベルを印刷する際やテンプレートを作成する際に使用する標準のラベル作成ソフトウェアです。QRコードを含む各種バーコードの作成・印刷や Excel [®] などのデータベースを利用した差し込み印刷(データベースリンク)も可能です。
P-touch Transfer Manager	テンプレートデータやその他データを本機に登録したり、データをパソコンに保存したりできます。 このアプリケーションは P-touch Editor とともにインストールされます。
P-touch Library	P-touch Editor テンプレートデータの管理や印刷を行います。 P-touch Library でテンプレートデータを印刷することもできます。 このアプリケーションは P-touch Editor とともにインストールされます。
プリンター設定ツール	パソコンから本機の設定を行うことができます。

便利な機能	機能
分散印刷	大量のラベルを印刷する場合、複数のラベルプリンターに印刷を分散させることができます。 分散させて同時に印刷できるので、印刷時間を短縮できます。 詳しくは、「分散印刷」(45 ページ)をご覧ください。

パソコンから印刷する

本機で印刷するには、複数の方法があります。

ここでは、P-touch Editor を使用してパソコンから印刷する場合の手順を記載しています。


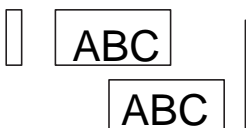
- 1、P-touch Editor を起動し、印刷したいテンプレートデータを開きます。
- 2、ラベルデザインを編集します。
- 3、カット設定を確認します。
- 4、メニューバーから[ファイル]ー [印刷]を選択するか、[印刷]アイコンをクリックします。

カット設定


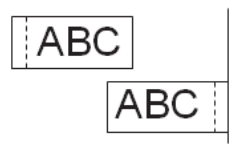

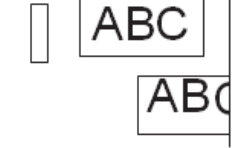
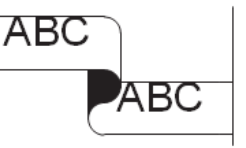
ラベルを印刷するときの用紙送りとカット方法を設定します。アプリケーションを使用してパソコンから印刷するとき、プリンタードライバでカット設定を選択します。

カット設定は次の表をご覧ください：


テープカット設定表

オートカット	ハーフカット	つなげて印刷	仕上がりイメージ
×	○	×	
○	○	×	
×	×	×	
○	×	×	

テープカット設定表

オートカット	ハーフカット	つなげて印刷	仕上がりイメージ
×	○	○	
○	○	○	
×	×	○	
○	×	○	
特殊テープ			

メモ

- 異なるラベルを複数枚印刷する場合は、ラベル間の余白を少なくするため、つなげて印刷を選択します（「テープカット設定表」(10ページ)をご覧ください）。
- つなげて印刷を使用した場合は、最後のラベルが印刷された後に（フィード & カット）ボタンを押してラベルをカットしてください。

ラベルを貼る

- 1、必要に応じて、印刷されたラベルをお好みの形や長さにハサミでカットします。
- 2、ラベルから裏紙を剥がします。
- 3、ラベルを貼り、指でしっかりと押さえます。

メモ

- テープの種類によっては簡単に剥がせるよう、あらかじめ裏紙がカットされているものがあります。テキスト面を内側にして縦にラベルを折り、裏紙の端を浮かせます。裏紙を1枚ずつ剥がします。
 - ラベルは、濡れたり、汚れていたり、平らでない場所には貼ることはできません。そのような場所に貼ると簡単にはがれてしまうことがあります。
 - 強粘着テープ：
ざらついている面には、強粘着テープのご使用をお勧めします。
 - 強粘着テープは、付属の取扱説明書をお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。
-

バーコードリーダーをシリアルケーブルで本機に接続して P-touch Template 機能を使用するには、あらかじめ本機にテンプレートデータを登録しておく必要があります。

プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする

プリンタードライバーとソフトウェア (P-touch Editor) をインストールします。

インストール方法について詳しくは、「プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする」(8 ページ) をご覧ください。

テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する

P-touch Editor でテンプレートを作成し、P-touch Transfer Manager に転送します。

詳しくは、「P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する」(58 ページ) をご覧ください。

テンプレートデータをパソコンから本機に登録する

P-touch Transfer Manager を使って、テンプレートデータを本機に登録します。

詳しくは、「パソコンからラベルプリンター本体へテンプレートデータを登録する」(61 ページ) をご覧ください。

シリアルケーブル変換アダプター(同梱品)で接続する

シリアルケーブル変換アダプターを使用して本機とバーコードリーダーを接続できます。

- 1、シリアルケーブルを接続する前に、本機とバーコードリーダーの電源が入っていないことを確認します。
- 2、本機とシリアルケーブルをシリアル変換アダプタで接続します。

メモ

- 出荷時の通信設定は以下のとおりです：

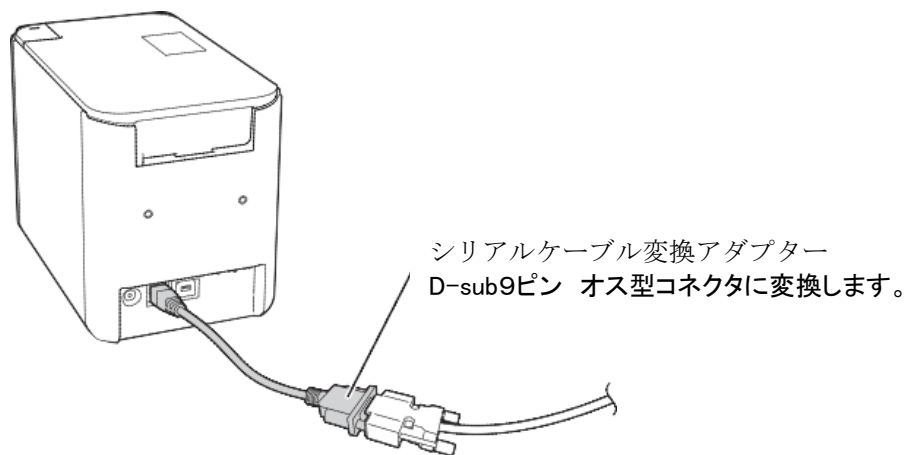
ボーレート：9600bps

パリティ：None

ビット長：8 bits

ビジー制御：DTR

- 通信設定を変更するには、プリンター設定ツールの[P-touch Template 設定]を使用します。



その他のインターフェイスを使用する

シリアル(RS-232C)ケーブル

シリアル(RS-232C)ケーブルは付属品ではありません。



シリアルインターフェイスは、電磁両立性(EMC)の制限を遵守するため、シールドされたインターフェイスケーブルを使用してください。

本機で使用可能なシリアルケーブル(RS-232ケーブル)のピン割り当てを下表に示します。これらのケーブルは、電器店で購入可能です。接続する機器をご確認のうえ、その性能に応じた長さのケーブルをご用意ください。

PA-SCA-001 側 (D-subメス、ロックネジ、#4-40 インチネジ)		ピン割り当て	バーコードスキャナ側 (D-sub 9-pin メス)	
信号名	ピン番号		ピン番号	信号名
DCD	1		1	DCD
RXD	2		2	RXD
TXD	3		3	TXD
DTR	4		4	DTR
GND	5		5	GND
DSR	6		6	DSR
RTS	7		7	RTS
CTS	8		8	CTS
RI	9		9	RI

シリアルインターフェイスの設定

バーコードリーダーと本機のポートと通信速度の設定を変更する手順を説明します。

バーコードリーダーの通信速度設定

通信速度設定については、バーコードリーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機の通信速度設定

本機の通信速度設定は、「事前準備」(30ページ)をご覧ください。

プリンター設定ツール

プリンター設定ツールを使用すると、本機の通信設定、本体設定、および P-touch Template 設定を Windows[®] から指定できます。



メモ

プリンター設定ツールは初期インストーラーを使用すると、プリンタードライバーなどの他のソフトウェアと同時にインストールされます。「プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする」(8ページ)をご覧ください。

❗ 重要

プリンター設定ツールは、対応した弊社ラベルプリンターでのみご利用いただけます。

印刷設定ツールを使用する前に

- ・AC アダプターが AC 電源コンセントに接続されていることを確認します。
- ・プリンタードライバーが正しくインストールされ、機能していることを確認します。
- ・USB ケーブルで、本機をパソコンに接続します。

プリンター設定ツールを使用する

1、設定するラベルプリンターをパソコンに接続します。

2、プリンター設定ツールを起動します。

Windows Vista® / Windows® 7 の場合：

スタートボタンから、[すべてのプログラム]-[MAX]-[Label Printer]-[Printer Setting Tool]をクリックします。

Windows® 8 / Windows® 8.1 / の場合：

[アプリ]画面の[Printer Setting Tool]アイコンをクリックします。

Windows® 10 の場合：

スタートボタンからすべてのアプリケーションを選択し、[MAX]-[Label Printer]

-[Printer Setting Tool]をクリックします。

メイン画面が表示されます。



1 プリンター

接続されたラベルプリンターを示します。

2 本体設定

電源設定、印刷設定などの、本体の設定を指定します。

3 P-touch Template 設定

P-touch Template 設定を指定します。

4 終了

3、設定するラベルプリンターが[プリンター]に表示されているか確認します。別のラベルプリンターが表示されている場合、ドロップダウンリストからラベルプリンターを選択してください。

メモ

1 台のラベルプリンターのみが接続されている場合、そのラベルプリンターだけが利用可能なので選択する必要はありません。

4、変更する設定を選択してから、ダイアログボックスで設定を指定または変更します。

設定ダイアログボックスの詳細については、「本体設定」(19ページ)、

または「P-touch Template の設定」(26 ページ)をご覧ください。

5、設定ダイアログボックスで[設定]- [終了]をクリックし、設定をラベルプリンターに適用します。

6、メイン画面で[終了]をクリックし、設定の指定を完了します。

重要

ラベルプリンターがスタンバイ状態の場合のみ、プリンター設定ツールを使用してラベルプリンターを設定します。ジョブの処理中にラベルプリンターを設定しようとすると、ラベルプリンターが誤作動する可能性があります。

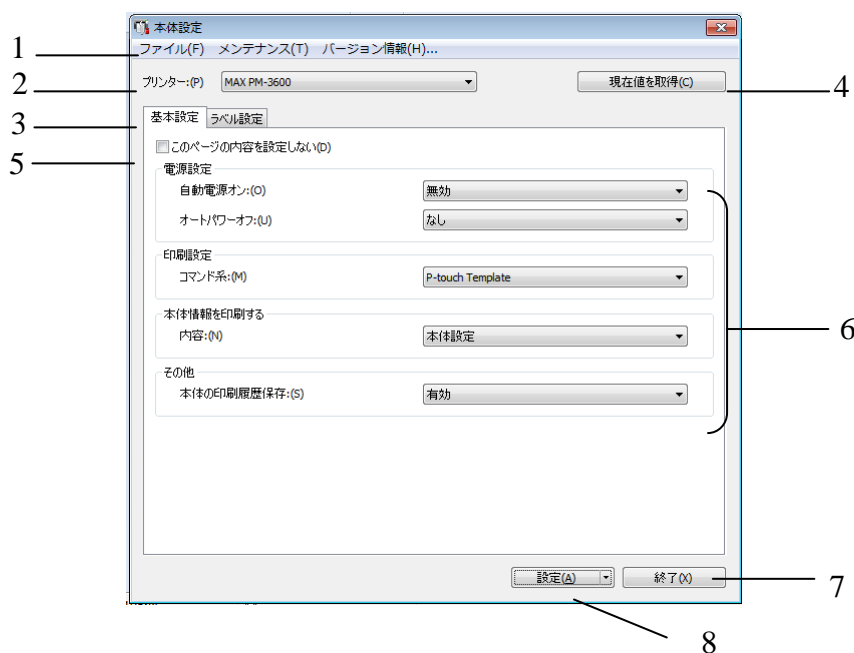
本体設定

プリンター設定ツールの[本体設定]では、ラベルプリンターとパソコンをUSB ケーブルで接続すると、印刷設定情報を指定または変更できます。1 台のラベルプリンターの本体設定を変更するだけでなく、同じ設定を複数のラベルプリンターに適用することもできます。

パソコンのアプリケーションから印刷する場合、プリンタードライバーから様々な印刷設定を指定できますが、プリンター設定ツールの[本体設定]を使用すると、より詳細な設定を指定できます。

[本体設定]を開くと、ラベルプリンターの現在の設定を取得および表示します。現在の設定を取得できない場合、前回の設定が表示されます。現在の設定を取得できず、また前回の設定が指定されていない場合、本ツールの初期設定値が表示されます。

設定ダイアログボックス



1 メニューバー

各メニューの中に含まれている機能を、リストから選択します。

2 プリンター

本体設定をするラベルプリンターを選択します。接続されているラベルプリンターが 1 台のみの場合は、そのラベルプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

3 設定タブ

指定または変更する設定が含まれます。



メモ

がタブに表示されている場合、そのタブの設定を指定または変更できません。また、[設定]をクリックした場合でも、タブの設定はラベルプリンターに適用されません。[コマンドファイルに保存] または [エクスポート] を実行した場合でも、タブの設定は保存またはエクスポートされません。


4 現在値を取得

現在接続しているラベルプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。



があるタブのパラメーターに対しても設定を取得します。

5 このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定の指定や変更ができなくなります。



が表示されているタブの設定は、[設定]をクリックしてもラベルプリンターに適用されません。

また、[コマンドファイルに保存]または[エクスポート]を実行した場合でも、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

6 パラメーター

現在の設定を表示します。

7 終了

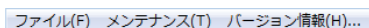
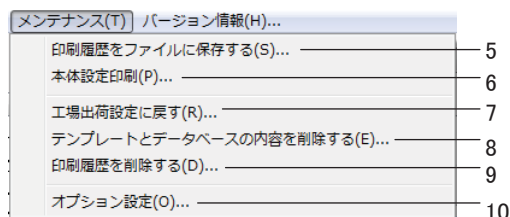
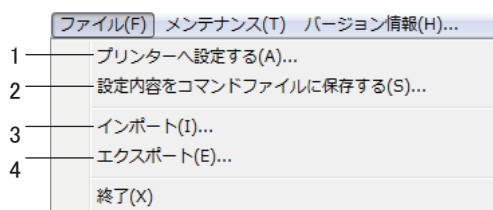
[本体設定]を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

8 設定

設定をラベルプリンターに適用します。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから[コマンドファイルに保存]を選択します。

メニューバー



11

1 プリンターへ設定する

設定をラベルプリンターに適用します。

[設定]をクリックしたときと同じ操作を実行します。

2 設定内容をコマンドファイルに保存する

指定した設定をコマンドファイルに保存します。

[コマンドファイルに保存]が[設定]ドロップダウンリストから選択されたときと同じ操作を実行します。

3 インポート

エクスポートされたファイルをインポートします。

4 エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。

5 印刷履歴をファイルに保存する

印刷履歴を csv 形式でファイルに書き出して保存します。

6 本体設定印刷

ファームウェアのバージョンと本体設定情報を含むレポートを印刷します。

- ✂ (フィード & カット) ボタンを使用してこのレポートを印刷することもできます (「本機の設定を確認する」(45 ページ)をご覧ください)。



メモ

このレポートを印刷する場合は、24 mm または 36 mm のテープを使用してください。

7 工場出荷設定に戻す

すべてのラベルプリンター設定を工場出荷時の設定にリセットします。

8 テンプレートとデータベースの内容を削除する

ラベルプリンターに保存されたテンプレートデータとデータベースを削除します。

9 印刷履歴を削除する

ラベルプリンターに保存された印刷履歴を削除します。

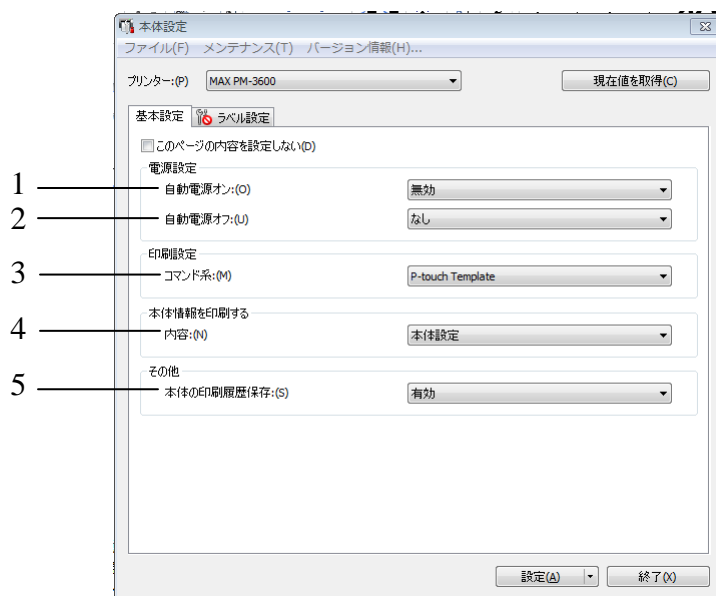
10 オプション設定

[起動時に現在値を取得できなかった場合、エラーメッセージを表示しない。]を選択した場合、メッセージは次回から表示されません。

11 バージョン情報

バージョン情報を表示します。

基本設定タブ



1 自動電源オン

電源コードを電源コンセントに差し込んだとき、ラベルプリンターの電源が自動的に入るかどうかを設定します。

利用可能な設定: [無効]、[有効]

2 自動電源オフ

ラベルプリンターが電源コンセントに接続されている場合に、ラベルプリンターの電源が自動的に切れるまでに経過する時間を指定します。

利用可能な設定: なし、10 分、20 分、30 分、40 分、50 分、1 時間、2 時間、4 時間、8 時間、12 時間

3 コマンド系

ラベルプリンターのコマンド形式を指定します。

利用可能な設定: [ラスター]、[ESC/P]、[P-touch Template]

4 内容

本体情報を印刷するときの印刷内容を設定します。

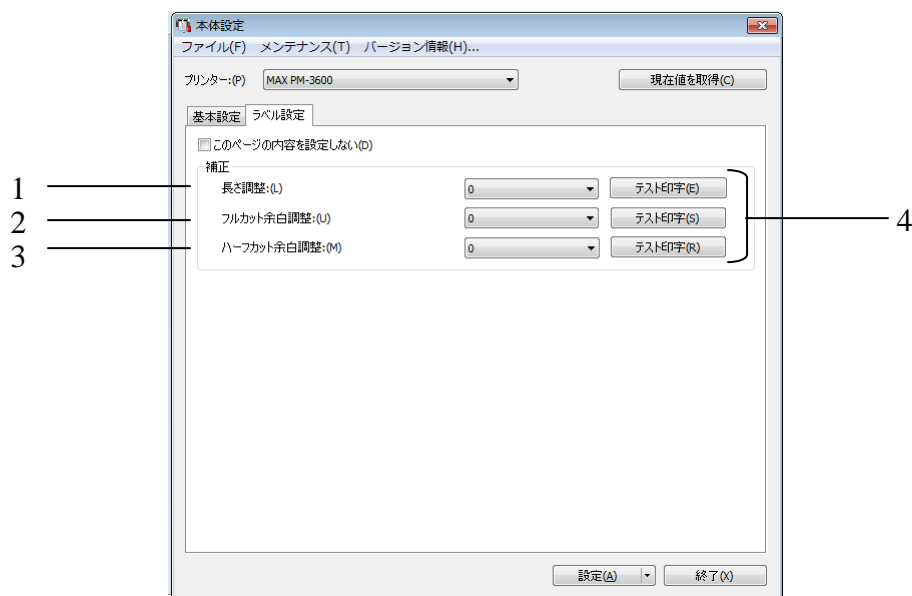
利用可能な設定: [すべて]、[印刷履歴]、[本体設定]、[転送データ]

5 本体の印刷履歴保存

本体からの印刷履歴を保存するかを設定します。[無効]に設定すると[メンテナンス]-[印刷履歴をファイルに保存する]は利用できません。

利用可能な設定: [有効]、[無効]

ラベル設定



1 長さ調整

カット時の長さの位置調整を行う値を設定します。利用可能な設定:-4 ~ +4 (1 ずつ増加します。)

2 フルカット余白調整

フルカット時の余白の調整を行う値を設定します。

利用可能な設定:-2 ~ +2 (1 ずつ増加します。)

3 ハーフカット余白調整

ハーフカット時の余白の調整を行う値を設定します。

利用可能な設定:-2 ~ +2 (1 ずつ増加します。)

4 テスト印字

ラベル設定タブの設定値でテスト印字を行います。

複数のラベルプリンターに設定変更を適用する

- 1、最初のラベルプリンターに設定を適用した後でラベルプリンターをパソコンから取り外します。
次に、2台目のラベルプリンターをパソコンに接続します。
- 2、[プリンター]ドロップダウンリストから、新しく接続したラベルプリンターを選択します。
- 3、[設定]ボタンをクリックします。
最初のラベルプリンターに適用された同じ設定が、2台目のラベルプリンターにも適用されます。
- 4、設定を変更するすべてのラベルプリンターに、1～3のステップを繰り返します。

メモ

現在の設定をファイルに保存するには、[ファイル] - [エクスポート]をクリックします。
[ファイル]- [インポート]をクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択することで、
同じ設定を他のラベルプリンターに適用できます。(「本体設定」(19ページ)をご覧ください。)

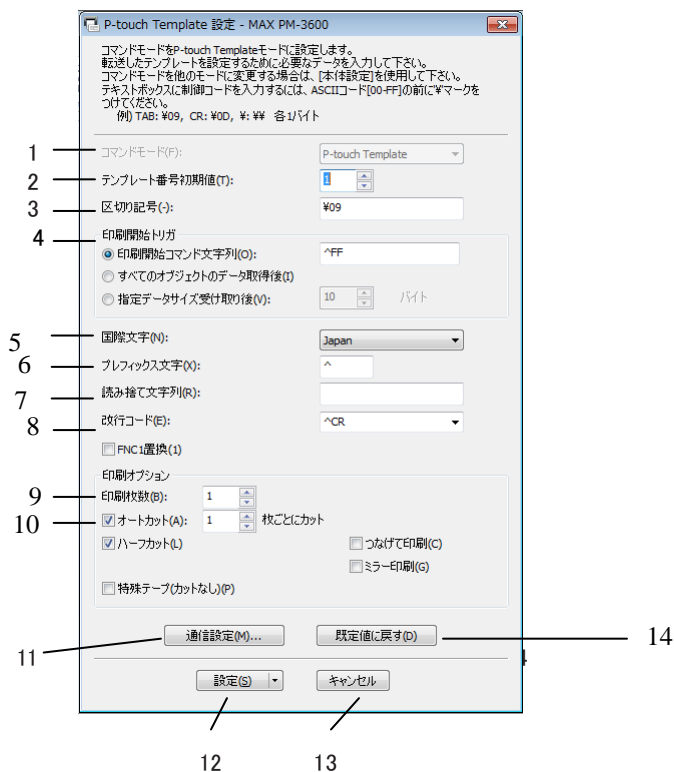
P-touch Template の設定

P-touch Template モードは、本機に接続されたバーコードリーダーや他のデバイスからのデータを、本機に保存したテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能を提供します。プリンター設定ツールの[P-touch Template 設定]では、P-touch Template 機能を使用するための設定を指定または変更できます。

メモ

- P-touch Template モードは、秤のような入力装置、計測器、プログラマブルロジックコントローラ（PLC）、またはシーケンサと互換性があります。
-

P-touch Template 設定ダイアログボックス



1 コマンドモード

P-touch Template モードをデフォルトモードとして指定します。

モードを変更するには、本体設定を使用します。

2 テンプレート番号初期値

本機の電源を入れた際、デフォルトとして選択するテンプレート番号を指定します。

ただし、テンプレートデータが本機に登録されていない場合、テンプレート番号を指定しないでください。

3 区切り記号

ファイル内のデータのグループ間の境界を示すのに使用される記号。1 ~ 20 文字で指定できます。

4 印刷開始トリガ

印刷を開始するトリガを指定できます。

[印刷開始コマンド文字列]: ここで指定されたコマンド文字を受信すると、印刷を開始します。

[すべてのオブジェクトのデータ取得後]: 最終オブジェクトの区切り文字を受信すると、印刷を開始します。

[指定データサイズ受け取り後]: ここで指定された文字数を受信すると、印刷を開始します。ただし、区切り文字は文字数にカウントされません。

5 国際文字

文字セットの国を示します。

利用可能な設定: [United States],[France],[Germany],[Britain],[Denmark],[Sweden],[Italy],[Spain],[Japan],[Norway],[Denmark II],[Spain II],[Latin America],[Korea],[Legal]

上記のリストから選択した国により、次の 12 のコードを切り替えます。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

切り替えた文字については、「P-touch Template マニュアル」をご覧ください。

6 プレフィックス文字

プレフィックス文字コードを指定します。P-touch Template モードで使用するコマンドを識別します。

7 読み捨て文字列

ここで指定された文字は、データ受信時に印刷されません。1 ~ 20 文字を指定します。

8 改行コード

改行コードは、次のデータがテキストオブジェクト内の次の行に移動することを示すため、データ送信時に使用します。次の 4 つの改行コードの 1 つを選択できます。または改行コードとして 1 ~ 20 文字を指定できます。

利用可能な設定: [^CR],[¥0D¥0A],[¥0A],[¥0D]

9 印刷枚数

印刷部数を設定します。1 ~ 99 の数字を指定できます。

10 カットオプション

オートカットを行うか、また何枚ごとに行うかを設定します。1 ~ 99 の数字を指定できます。その他のカットオプションも選択できます。

11 通信設定

通信設定を行います。

12 設定

ラベルプリンターに設定値を反映します。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから[コマンドファイルに保存]を選択します。

13 キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定は変更されません。

14 既定値に戻す

工場出荷時の設定に戻します。

P-touch Templateを使用してラベルを印刷する

P-touch Template 機能

P-touch Template モードでは、本機に接続されたバーコードリーダーや他のデバイスからのデータを、本機に保存したテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能を提供します。

基本操作

- ・定型テンプレート印刷機能（34 ページをご覧ください）

使用頻度の高いテンプレートや画像を本機にダウンロードしておく、バーコードを読み取るだけで印刷できます。

- ・バーコード作成(コピー)印刷機能（36 ページをご覧ください）

テンプレートデータを本機にダウンロードしておく、バーコードを読み取って同じラベルを印刷したり、異なるラベルに読み取ったデータを挿入して印刷します。

- ・データベース置換印刷機能（39 ページをご覧ください）

データベースをリンクさせたテンプレートデータを本機にダウンロードしておく、テンプレートの内容をバーコードで読み取ったデータベースの値に置き換えて印刷します。

応用機能

- ・ナンバリング(連番)印刷機能（42 ページをご覧ください）

本機にダウンロードしておいたテンプレートのテキストまたはバーコードの数字を自動的に1カウントアップしながら印刷します。



メモ

P-touch Template モードは、秤のような入力装置、計測器、プログラマブルロジックコントローラ (PLC)、またはシーケンサと互換性があります。

事前準備

本機にバーコードリーダーを接続する前に、P-touch Template 設定ツール(プリンター設定ツール内)を使用して、バーコードリーダーの設定をします。

P-touch Template 設定ツールの設定

1、本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、電源を入れます。

2、プリンター設定ツールを起動します。

Windows Vista® / Windows® 7の場合:

スタートボタンから、[すべてのプログラム]-[MAX]-[Label Printer]-[Printer Setting Tool]をクリックします。

Windows® 8 / Windows® 8.1の場合:

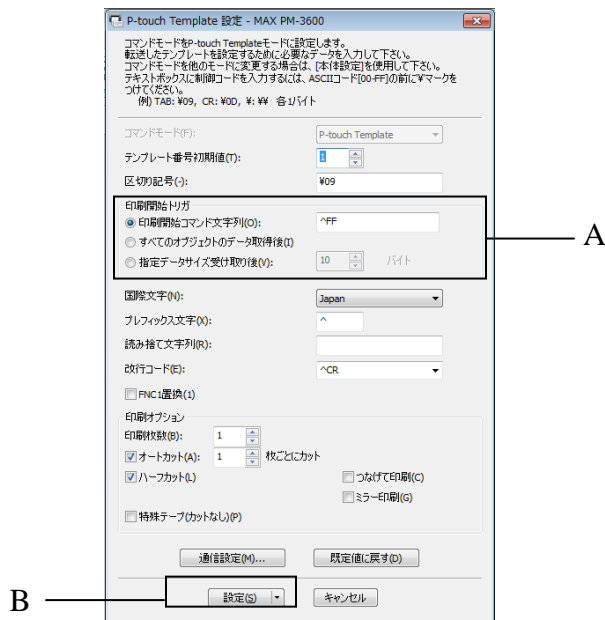
[アプリ]画面の[Printer Setting Tool]アイコンをクリックします。

Windows® 10 の場合:

スタートボタンから、[すべてのアプリ]を選択し、[MAX]-[Label Printer]-[Printer Setting Tool]をクリックします。

3、[P-touch Template Settings]をクリックします。

4、各項目を設定して、[設定]をクリックします。



メモ

- デフォルト設定では、バーコードリーダーで「^FF」のコードを読み込んだときに印刷開始します。
(Aで変更できます。)
- [指定データサイズ受け取り後]をチェックしてバイト数を指定すると、指定バイト数のバーコードを読み取り後に自動で印刷させることもできます。
- P-touch Editor を利用してパソコンから印刷すると、コマンドモードがラスタモードに自動的に切り替わります。デフォルトモードを P-touch Template モードに設定している場合、電源のOFF/ONをすることで、P-touch Template モードで起動します。

拡張型シリアルポート(RS-232C)の設定

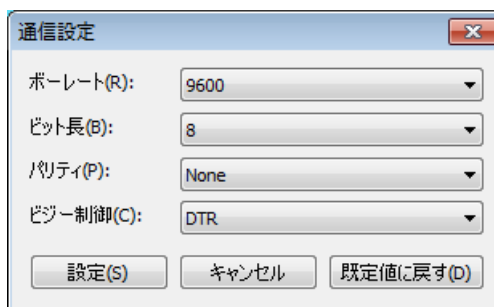
RS-232C シリアルインターフェイスでバーコードリーダーまたはその他のデバイスを使用する場合は、バーコードリーダーまたはその他のデバイスと本機が同じシリアル通信を設定する必要があり、シリアルケーブル変換アダプター(同梱品)も必要です。

メモ

これらの設定を行う前に、バーコードリーダーのプログラミングリファレンスマニュアルをご確認ください。多くのバーコードリーダーはプログラムの設定が難しいため、バーコードリーダーは初期設定のまま、本機側の通信設定を変更することをお勧めします。本機の通信設定の初期値は、次の通りです。

ボーレート	[9600]bps
ビット長	[8]bits
パリティ	[None]
ビジー制御	[DTR]

1、「P-touch Template 設定ツールの設定」の手順4の通信設定(B)をクリックします。



2、必要に応じて設定を変更し、[設定]をクリックします。

メモ

正しく通信設定をするため、微調整などでもできるように、[設定]ボタンを押しても通信設定画面は閉じません。設定が完了したら、[キャンセル]または通信設定画面右上の[x]をクリックします。

バーコードリーダーの接続

高品質で信頼性の高いバーコードリーダーの使用と機種を選択を行う前にバーコードリーダーの仕様を確認することをお勧めします。

・バーコードリーダーの接続方法

RS-232C シリアルインターフェイスを使用します。

メモ

- ・RS-232C シリアルインターフェイスを使用するには、シリアルケーブル変換アダプター（同梱品）が必要です。

・推奨されるバーコードリーダーの選択基準

- ・USB ホストインターフェイスを使用の場合：キーボードとして認識できる HID クラスの機種
- ・RS-232C シリアルインターフェイスを使用の場合：バッテリーまたは外部 AC アダプター付きのプログラム可能機種

本機の通信設定値は、次の通りです。

ボーレート	[300]bps から [115200]bps
ビット長	[7]bits、[8]bits
パリティ	[None]、[Odd]、[Even]
ビジー制御	[DTR]、[XON/XOFF]

メモ

- ・P-touch Template モードを使用するには、P-touch Transfer Manager を使用してテンプレートデータをパソコンから本機へ登録しておく必要があります。詳しくは、「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」(57ページ)をご覧ください。
- ・バーコードリーダーは、英語キーボード配列を使用するように設定します。初心者の場合、バーコードリーダーは、プレフィックスとサフィックスを無しに設定して、データをスキャンするように設定します。上級者の場合、P-touch Template モードの使用をより簡単にするために、プレフィックスおよびサフィックスを本機へのコマンドとして使用するように設定します。
- ・2 バイト文字がエンコードされたバーコードをスキャンする場合は、RS-232C シリアルインターフェイスバーコードリーダーモデルのご使用をお勧めします。
- ・バーコードリーダーの使用と設定方法について詳しくは、バーコードリーダーの製造元にお問い合わせください。

・バーコードリーダーの設定

・C-37-R(オプトエレクトロニクス社製)をご使用になる場合は初期設定として下記サフィックスの設定を行う必要があります。

- ①開始→②サフィックスの消去→③終了の順にバーコードを読み取ってください。
終了を読むとバーコードリーダーのブザーが鳴り止みます。

① 開始



② サフィックス
の消去



③ 終了



定型テンプレート印刷機能

使用頻度の高いテンプレートや画像を本機にダウンロードしておく、バーコードを読み取るだけで印刷できます。

<電気ラベル>



<サイン>



メモ

- 各設定に必要な読み取り用バーコードは、「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(92 ページ)をご覧ください。
- グループ化すると、画像として送信されます。

1、P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータ(ラベル)を本機に登録(P-touch Editor から)します(「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」(57 ページ)をご覧ください)。

メモ

ラベルのテキストをグループ化すると、画像になります。画像にすると文字の編集ができなくなり、よく使うテンプレートを間違えて編集してしまうことを防ぎます。

P-touch Editor 編集画面のテキストオブジェクトの上で右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[拡張]タブをクリックして、[文字の編集を禁止する]にチェックを入れます。

[拡張]タブが表示されない場合は、[ツール]メニューから[オプション]を選び、[全般]タブをクリックして、[その他]の中の[オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示]にチェックを入れます。

[文字の編集を禁止する]のチェックを外すとテキストに戻り、編集できるようになります。

2、転送するデータをP-touch Transfer Managerの[転送用データセット]に移動し、転送したいデータが入っているフォルダーを選択します。

メモ

- P-touch Transfer Manager の[転送用データセット]にテンプレートデータを移動すると[キー割り当て]番号が自動的に設定されます。
- 定型テンプレート印刷機能で使用したいテンプレートデータは、[キー割り当て]番号が1から10になるように設定してください。
- 高度な操作では、[キー割り当て]番号を1から99に設定しておくこともできますが、読み取り用バーコードが用意されていない番号に設定した場合は、手順6で読み取るバーコードを事前に用意する必要があります。

- [転送用データセット]の下にフォルダーを追加して、テンプレートデータを移動し、種類や内容で管理することができます。

- 3、[転送用データセット]に移動されたテンプレートデータを選択して、[転送]をクリックし、データを本機に登録します。
- 4、設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド(初期設定+ 設定開始)」バーコードを読み取ります。
「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(92 ページ)をご覧ください。
- 5、「基本設定」の下のバーコードリストから、設定したい項目のバーコードを読み取ります。



メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
 - 何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で 1 枚のラベルが印刷されます。
 - 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3桁の数字を読み取ってください。
例：
数字の設定は次のように行います：7→[0][0][7]、15→[0][1][5]
 - 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3桁の数字を読み取りなおしてください。
- 6、印刷したいテンプレートデータの[キー割り当て]番号と同じ番号の「定型テンプレート番号」バーコードを読み取ります。
 - 7、指定したラベルが印刷されます。

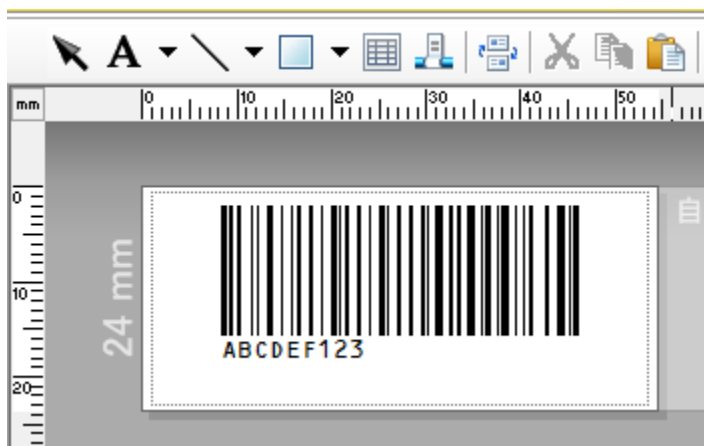
バーコード作成(コピー)印刷機能

テンプレートデータを本機にダウンロードしておく、と、バーコードを読み取って同じラベルを印刷したり、異なるラベルに読み取ったデータを挿入して印刷します。

メモ

- 各設定に必要な読み取り用バーコードは「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(92ページ)をご覧ください。
- バーコードリーダーで読み取るバーコードとあらかじめ本機に登録しておいたバーコードテンプレートの規格が異なる場合は、バーコードを作成して印刷できない場合があります。
- バーコードリーダーでは読み取ることができるバーコードシンボルや規格でも、本機でサポートされていない場合は、印刷できません。

1、P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータ(ラベル)を本機に登録(P-touch Editor から)します(「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」(57 ページ)をご覧ください)。



CODE128/9 桁

重要

バーコードシンボルや規格の要件を満たすテンプレートをデザインすることが重要です。特に、バーコードリーダーから挿入されたラベルのラベルサイズやバーコード位置がフィットするように最大桁数や文字種類を想定して作成してください。挿入されたデータが印刷可能な画像領域に収まらない場合は、バーコードが作成できません。

- 2、転送するテンプレートデータを P-touch Transfer Manager の[転送用データセット]に移動し、転送したいデータが入っているフォルダーを選択します。

メモ

- P-touch Transfer Manager の[転送用データセット]にテンプレートデータを移動すると[キー割り当て]番号が自動的に設定されます。
 - 定型テンプレート印刷機能で使いたいテンプレートデータは、[キー割り当て]番号が 1 から 10 になるように設定してください。
 - [転送用データセット]の下にフォルダーを追加して、テンプレートデータを移動し、種類や内容で管理することができます。
- 3、[転送用データセット]に移動されたテンプレートデータを選択して、[転送]をクリックし、データを本機に登録します。
 - 4、設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド(初期設定 + 設定開始)」バーコードを読み取ります。
「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(92 ページ)をご覧ください。
 - 5、「基本設定」の下のバーコードリストから、設定したい項目のバーコードを読み取ります。

メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
 - 何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で1枚のラベルが印刷されます。
 - 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで3桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。
例：
数字の設定は次のように行います：7→[0][0][7]、15→[0][1][5]
 - 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3桁の数字を読み取りなおしてください。
- 6、「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、印刷したいテンプレートの[キー割り当て]番号と同じ数字(3桁)を「テンキー入力」バーコードで読み取ります。
数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。
例：数字の設定は次のように行います：
7→[0][0][7]、15→[0][1][5]

 **メモ**

手順 6 で使用するための 1 つのバーコードを P-touch Editor を使用して作成し、印刷しておくことができます。

例：



7、手順 6 で選択したテンプレートのバーコードに挿入したいデータが含まれているバーコードを事前に印刷しておき読み取ります。

例：



(CODE128/9 桁)

8、「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

9、印刷されたテンプレートのバーコードは、手順 7 でスキャンしたバーコードからのデータが含まれています。

例：



データベース置換印刷機能

データベースをリンクさせたテンプレートデータを本機にダウンロードしておく、テンプレートの内容をバーコードで読み取ったデータベースの値に置き換えて印刷します。

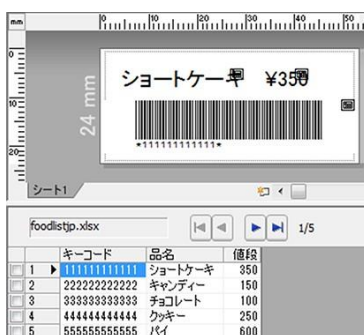
メモ

- 本機は、リンクされたデータベースの左端の列(フィールド「A」)を認識します。したがって、バーコードで読み取るキーワードは、データベースのこの列にある必要があります。
- リンクされたデータベースの左端の列(フィールド「A」)のデータは、バーコードで読み取られるキーワードと一致する必要があります。
- P-touch Editor と本機は、リンクされたデータベースの各フィールドの 1 行目しか認識しないので、左端の列(フィールド「A」)のデータは1行で作成することをお勧めします。
- 各設定に必要な読み取り用バーコードは「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(92 ページ)をご覧ください。

1、P-touch Editor を使用してテンプレートを作成し、データベースファイルを接続します。必要に応じて、テンプレートのテキストまたはバーコードオブジェクトに同じ数だけの列をリンクさせることができます。

メモ

データ置き換えのキーワードになるデータベースファイルの左端の列(フィールド「A」)のデータを印刷する必要がなければ、この列をテンプレートのテキストまたはバーコードオブジェクトにリンクする必要はありません。ただし、この列のデータを印刷する、しないにかかわらず、データベースファイルの左端の列(フィールド「A」)はキーワードとして使用されます。



設定方法について詳しくは、「[P-touch Editor ヘルプ](#)」をご覧ください。

2、P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータ(ラベル)を本機に登録(P-touch Editor から)します。「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」(57 ページ)をご覧ください。データベースファイルも一緒に登録されます。

- 3、P-touch Transfer Manager の[転送用データセット]にテンプレートデータを移動すると[キー割り当て]番号が自動的に設定されます。



メモ

[転送用データセット]の下にフォルダーを追加して、テンプレートデータを移動し、種類や内容で管理することができます。

- 4、[転送用データセット]に移動されたテンプレートデータを選択して、[転送]をクリックし、データを本機に登録します。
- 5、設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド(初期設定 + 設定開始)」バーコードを読み取ります。
「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(92 ページ)をご覧ください。
- 6、「基本設定」の下のバーコードリストから、設定したい項目のバーコードを読み取ります。



メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で 1 枚のラベルが印刷されます。
- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例:

数字の設定は次のように行います: 7 → [0][0][7]、15 → [0][1][5]

- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

- 7、「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、印刷したいテンプレートの[キー割り当て]番号と同じ数字(3桁)を「テンキー入力」バーコードで読み取ります。

数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例: 数字の設定は次のように行います:

7 → [0][0][7]、15 → [0][1][5]

メモ

手順6で使用するための1つのバーコードをP-touch Editorを使用して作成し、印刷しておくことができます。

例:



8、手順4からダウンロードされたデータベースで検索するキーワードが含まれているバーコードを事前に印刷しておき、読み取ります。

例:



9、読み取られたキーワードでデータベースの検索を開始するコマンドを送信するために、「デリミタ」バーコードをスキャンします。

10、「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

メモ

手順9と10で使用するための1つのバーコードをP-touch Editorを使用して作成、印刷しておくことができます。

例:



11、本機は、読み取ったキーワードで検索したデータベースファイルの値に置き換えてテンプレートを印刷します。



ナンバリング(連番)印刷機能

本機にダウンロードしておいたテンプレートのテキストまたはバーコードの数字を自動的に 1 カウントアップしながら印刷します。

メモ

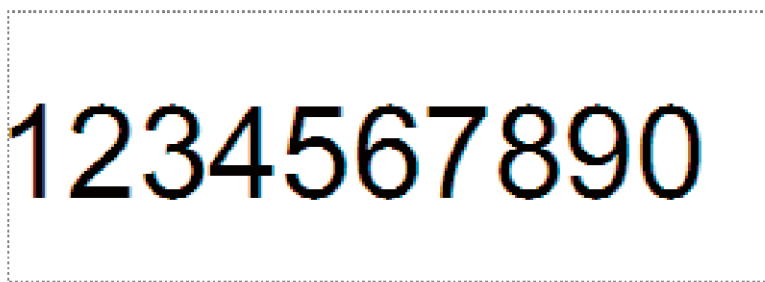
- この高度な操作は、P-touch Template モードの基本的な操作にもすべて適用できます。
- 999 までの連番印刷が可能です。
- ナンバリング(連番)設定を各テンプレートにつき、テキストおよびバーコードオブジェクトを9 つまで選択できます。
- データベースファイルにリンクされたテキストとバーコードオブジェクトはナンバリング(連番)設定できません。

テキストナンバリング(連番)

手順

- 1、P-touch Editor でテンプレートを開き、ナンバリング(連番)印刷したいテキストオブジェクトを選択します。

例:



- 2、ナンバリング(連番)印刷したいテキストオブジェクト内をハイライト表示するか、または数字や文字の上にカーソルをドラッグさせます(ナンバリング範囲)。



メモ

各ナンバリング範囲で指定できる文字数は最大 15 文字です。

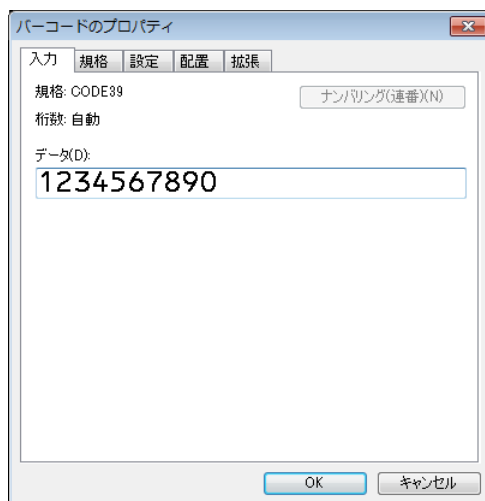
3、ハイライトされたナンバリング範囲の上で右クリックし、[ナンバリング(連番)]を選択します。

バーコードナンバリング(連番)

手順

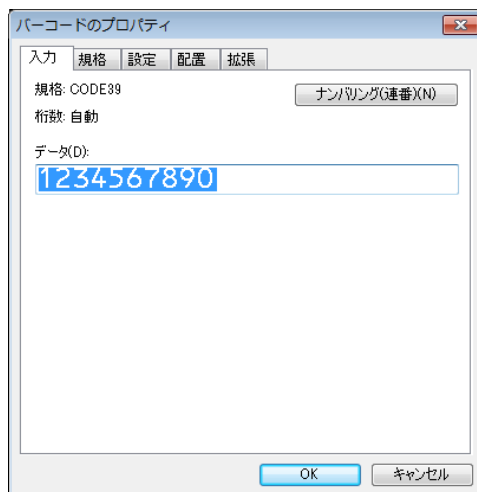
- 1、P-touch Editor でテンプレートを開き、ナンバリング(連番)印刷したいバーコードオブジェクトを選択します。
- 2、選択したバーコードオブジェクトの上で右クリックし、[プロパティ]を選択します。

例：



- 3、[入力]タブをクリックし、ナンバリング(連番)印刷したいバーコードオブジェクト内をハイライト表示するか、または数字や文字の上にカーソルをドラッグさせます(ナンバリング範囲)。

例：



メモ

[ナンバリング (連番)] ボタンは、数字や文字をハイライトさせると表示されます。

4、[ナンバリング(連番)] をクリックし、[OK] をクリックします。

メモ

各ナンバリング範囲で指定できる文字数は最大 15 文字です。

高度な操作でナンバリング(連番)印刷をする

1、P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータ(ラベル)を本機に登録(P-touch Editor から)します(「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」(57 ページ)をご覧ください)。データベース ファイルも一緒に登録されます。

2、高度な操作でナンバリング(連番)を行うために本機を設定します。

「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(92 ページ)をご覧ください。

「ナンバリング印刷枚数コマンド」バーコードを読み取り、印刷したい枚数を「テンキー入力」バーコードで3桁の数字を読み取ります。

例:

5 枚印刷したい場合は、3 桁の数字の設定はバーコードで、[0][0][5]と読み取ります。

メモ

- 印刷を開始するには、「定型テンプレート印刷機能」(34 ページ)から「データベース置換印刷機能」(39 ページ)の P-touch Template モードの基本操作手順に従ってください。
- 各ラベルがナンバリング(連番)印刷され、そのカウントは本機に保存されます。
- テキストまたはバーコードオブジェクトを元の値に戻すには、「テンプレートデータ初期化」バーコードを読み取ります。

本機の設定を確認する

パソコンに接続しなくても、本機の設定レポートを印刷できます。



本機の設定レポートには次のような情報が含まれています:ファームウェアバージョン、本体設定情報、シリアル番号。

- 1、本機の電源を入れます。
- 2、✂ (フィード & カット) ボタンを 10 秒以上、押します。



- 24 mm 幅または 36 mm 幅のテープカセットを装着してください。
- プリンター設定ツールからでも、設定レポートを印刷できます(「ラベルプリンターの設定を変更する」(16 ページ)をご覧ください)。

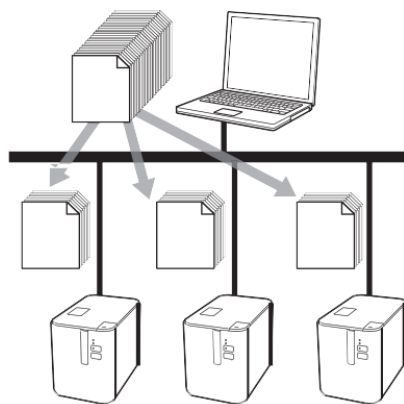
分散印刷

大量のラベルを印刷する場合、複数のラベルプリンターに印刷を分散させることができます。

分散させて同時に印刷できるので、印刷時間を短縮できます。



- USBで接続されているラベルプリンターへの分散印刷が可能です。
- 印刷枚数は指定したラベルプリンターに自動的に振り分けられます。振り分けるラベルプリンターに対して、割り切れない印刷枚数を設定した場合は、手順4で指定する[分散印刷設定]画面の上のラベルプリンターから順番に振り分けられます。設定可能な最大印刷枚数は 5000 枚です。

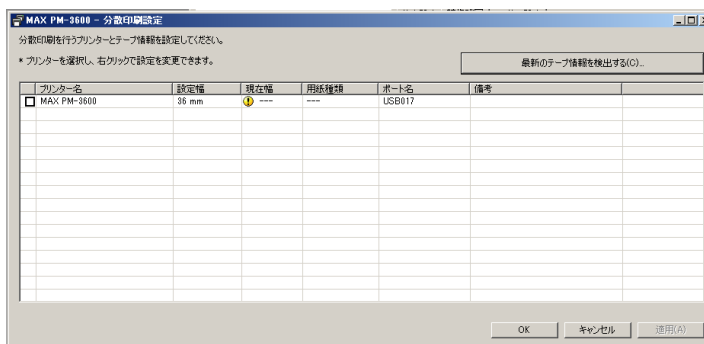


- 1、P-touch Editorの[ファイル]メニューから、[印刷]をクリックします。
- 2、[プロパティ …]をクリックします。

3、[拡張設定]タブ内の[分散印刷を適用する]をチェックし、[設定]をクリックします。




4、[分散印刷設定]画面で、分散印刷するラベルプリンターを設定します。



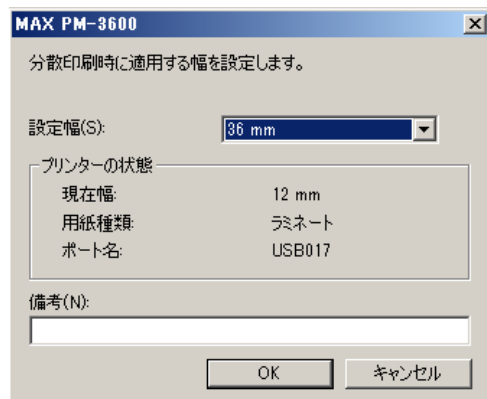
- 1 [最新のテープ情報を検出する ...]をクリックします。
- 2 現在検出されているラベルプリンター情報が、[現在幅]と[用紙種類]の下に表示されます。
- 3 分散印刷したい[プリンター名]にチェックマークを入れます。

メモ

選択されたテープ幅が[現在幅]に表示されているテープ幅と異なる場合、[現在幅]に  が表示されます。[設定幅]で指定されている幅のテープをセットしてください。

5、使用するテープ幅を設定します。

手順4の[分散印刷設定]画面で、設定するラベルプリンター名を選択し、ダブルクリックまたは右クリックして[設定]をクリックします。[設定幅]のドロップダウンリストからテープ幅を選択します。



 **メモ**

手順4の[分散印刷設定]画面に表示される情報は、[備考]欄で入力できます。

複数台のラベルプリンターを選択した場合でも選択したでもラベルプリンター全てが同じテープ幅で設定されます。

6、[OK]をクリックして、テープ幅設定画面を閉じます。

7、[OK]をクリックして、[分散印刷設定]画面を閉じます。
設定が終了しました。

8、[OK]をクリックすると分散印刷が開始されます。

 **メモ**

- USBハブやプリントサーバー経由で接続されているラベルプリンターの情報は検知できない場合があります。印刷の前に手動で設定を入力し、対象のラベルプリンターで印刷できるかを確認してください。
- ルーターの有無やファイアウォールなどのセキュリティ機能の使用によって、この機能が利用できない場合があります。
- 実際に使用する環境での接続テストをお勧めします。情報技術管理者または管理者に確認してください。

高解像度モードでラベルを印刷する

小さい文字(6ポイント相当以下)を含むラベルを作成するときは、高解像度モードを選択してください。

高解像度印刷は、黒色インクのレタリテープ(ただし巻き付けテープは除く)または高速・高解像度テープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタードライバーで高解像度モードを選択します。

- 1、P-touch Editorの[ファイル]メニューから、[印刷]をクリックします。
- 2、[プロパティ …]をクリックします。
- 3、[基本設定]タブで、[印刷品質]のドロップダウンリストから[高解像度]を選択します。



- 4、[OK]をクリックします。

高速モードでラベルを印刷する

高速印刷は、黒色インクの レタリテープ(ただし 巻き付けテープ は除く) または 高速・高解像度テープ が装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリン タードライバーで高速モードを選択します。

- 1、P-touch Editor の [ファイル] メニューから、[印刷] をクリックします。
- 2、[プロパティ …] をクリックします。
- 3、[基本設定] タブで、[印刷品質] のドロップダウンリストから [高速] を選択します。

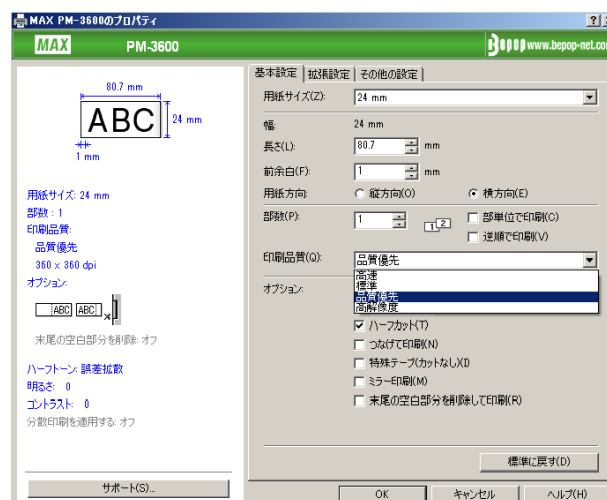


- 4、[OK] をクリックします。

品質優先モードでラベルを印刷する

バーコードと、小さい文字(6ポイント相当以下)を含むラベルを作成するときは品質優先モードを選択してください。品質優先印刷は、黒色インクのレタリテープ(ただし巻き付けテープは除く)または高速・高解像度テープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタードライバで品質優先モードを選択します。

- 1、P-touch Editorの[ファイル]メニューから、[印刷]をクリックします。
- 2、[プロパティ …]をクリックします。
- 3、[基本設定]タブで、[印刷品質]のドロップダウンリストから[品質優先]を選択します。



- 4、[OK]をクリックします。

メモ

- P-touch Editorで[ファイル]-[印刷]を選択し、[オプション]で[品質優先]を選択することもできます。



アプリケーション

ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法	52
ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」と ラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法	57

ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法

パソコンでラベルプリンターを使用するには、ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」とプリンタードライバーをインストールする必要があります。

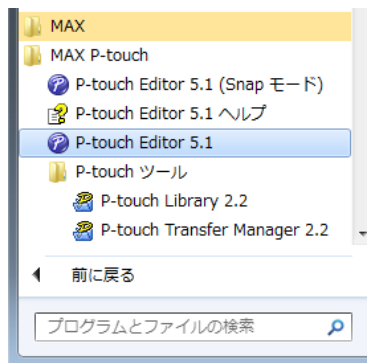
Windows® の場合

P-touch Editor を起動する

1 P-touch Editor を起動します。

■ Windows Vista® / Windows® 7 の場合：

スタートボタンから、[すべてのプログラム]-[MAX P-touch]-[P-touch Editor 5.1]をクリック、またはデスクトップの[P-touch Editor 5.1]アイコンをダブルクリックします。



■ Windows® 8/ Windows® 8.1 / の場合：

[アプリ]画面で[P-touch Editor 5.1]をクリック、またはデスクトップの[P-touch Editor 5.1] をダブルクリックします。

■ Windows® 10 の場合：

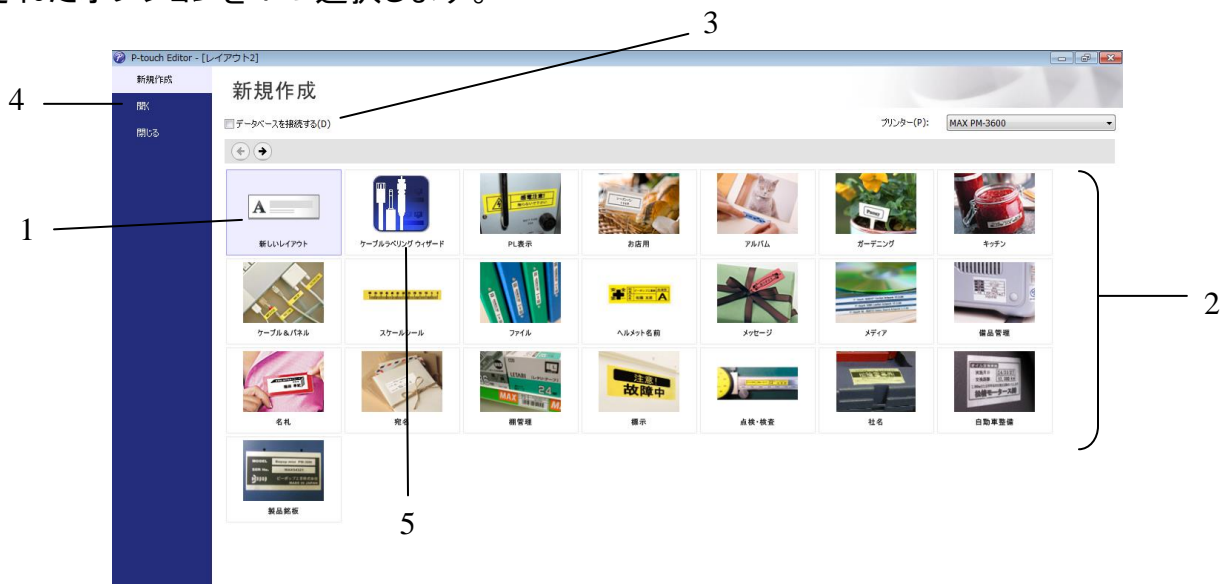
スタートボタンから[すべてのアプリ]を選択し、[MAX P-touch]下の[P-touch Editor 5.1] をクリック、またはデスクトップの[P-touch Editor 5.1]をダブルクリックします。

- 2 P-touch Editor が起動したら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。

メモ

起動時に P-touch Editor の機能を変更するには、P-touch Editor のメニューバーで「ツール」-「オプション」をクリックして、「オプション」ダイアログボックスを表示します。左側で、「全般」見出しを選択してから、「起動時の設定」下の「動作」リストボックスで希望の設定を選択します。デフォルト設定は、「新規ビューを表示」です。

- 3 表示されたオプションを 1 つ選択します。



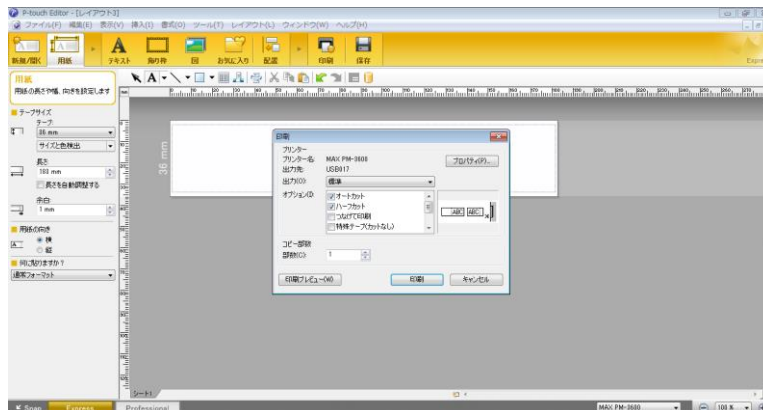
- 1 新しいレイアウトを作成するには、「新しいレイアウト」をダブルクリックするか、「新しいレイアウト」を選択して「→」をクリックします。
- 2 定型レイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、希望のカテゴリボタンをダブルクリックするか、希望のカテゴリボタンを選択して「→」をクリックします。
- 3 定型レイアウトをデータベースに接続するには、「データベースを接続する」の隣のチェックボックスを選択します。
- 4 既存のレイアウトを開くには、「開く」をクリックします。

- 5 電子機器管理用のラベルを簡単に作成するアプリケーションを開くには、「ケーブルラベリング ウィザード」をダブルクリックするか、「ケーブルラベリングウィザード」を選択して[→]をクリックします。



P-touch Editor を使用して印刷する

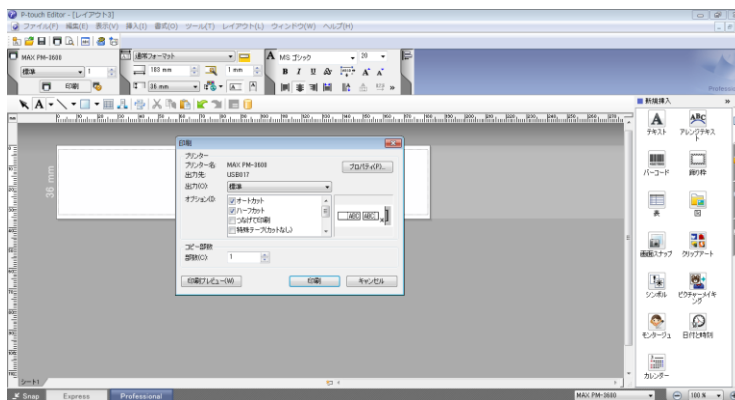
- **Express モード** このモードでは、テキストや画像を含んだレイアウトを素早く作成できます。



メニューバーの[ファイル]から[印刷]を選択する、または[印刷]アイコンをクリックすることで印刷できます。(印刷する前に[印刷]画面で印刷設定を実施してください。)

- **Professional モード**

このモードでは、幅広い高度なツールとオプションを使用して、レイアウトを作成できます。



メニューバーの[ファイル]から[印刷]を選択する、または印刷設定アイコンをクリックすることで印刷できます。印刷する前に[印刷]画面で印刷設定を実施してください。さらに、[印刷]アイコンをクリックすると、印刷設定を変更せずに印刷を開始できます。

■ Snap モード

このモードでは、パソコンの画面表示の全部または一部を取り込み、画像として印刷し、今後使用するために保存することができます。

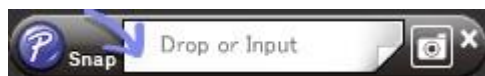
1、[Snap]モード選択ボタンをクリックします。

[Snap モードの説明]ダイアログボックスが表示されます。



2、[OK]をクリックします。

[Snap]モードパレットが表示されます。



ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録する

作成したテンプレートデータをラベルプリンター本体に登録するには、「P-touch Transfer Manager」を使用してください。詳しくは、「P-touch Transfer Manager」(57ページ)をご覧ください。

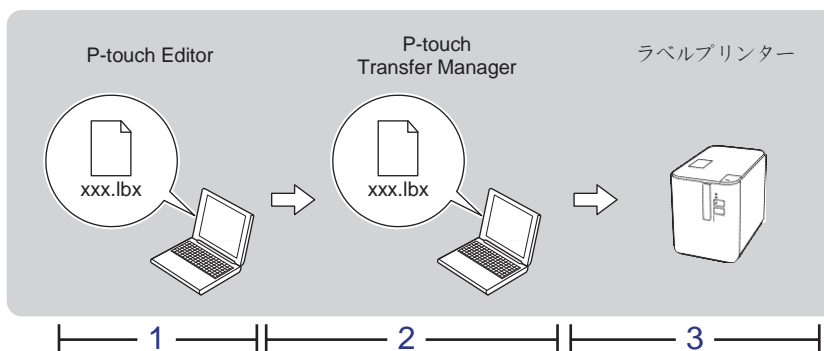
ラベル転送ソフトウェア「P-touch TransferManager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法

P-touch Transfer Manager

このプログラムにより、テンプレートデータやその他データをラベルプリンター本体に登録したり、ラベルプリンター本体に登録したデータのバックアップをパソコンに保存できます。

P-touch Transfer Manager を使用してテンプレートデータをラベルプリンター本体に登録後、P-touch Template 機能を使用すると、バーコードのコピーなどが簡単にできます。

プリンター本体へのテンプレートデータの登録作業の流れ



1 P-touch Editor でテンプレートデータを作成します。

「ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法」(51 ページ)をご覧ください。

2 P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送します。

「P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する」(58 ページ)をご覧ください。

(この時点では、ラベルプリンター本体へテンプレートデータとして登録するデータがパソコン上に準備できた状態です。)

3 P-touch Transfer Manager を使用して、ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録します。

「パソコンからラベルプリンター本体へテンプレートデータを登録する」(61 ページ)をご覧ください

P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する

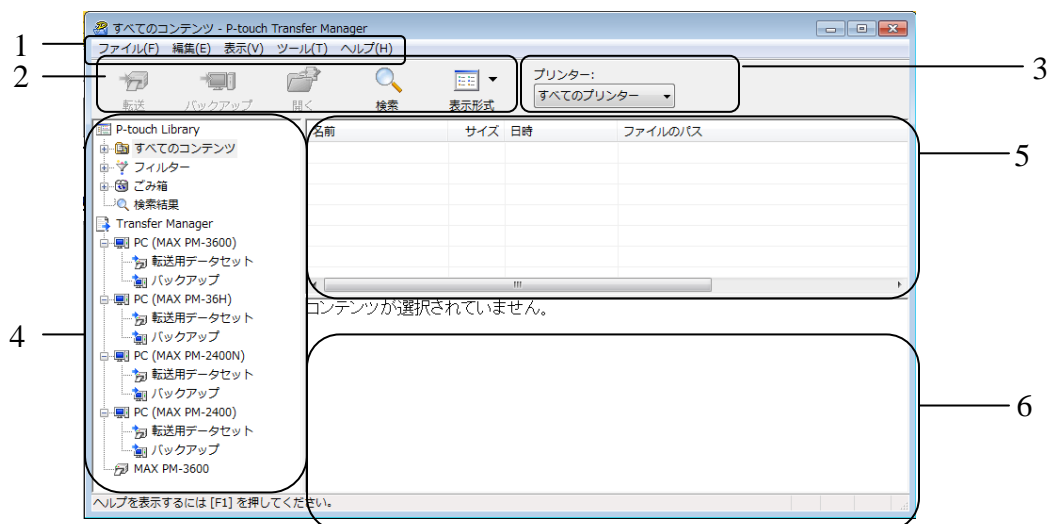
- 1、P-touch Editor でテンプレートデータを作成し、[ファイル]- [名前を付けて保存]メニューを選択してテンプレートファイル(*.lbx)として保存します。
- 2、[ファイル]- [テンプレートの転送]- [転送]をクリックします。
P-touch Transfer Manager が起動すると、メイン画面が表示されます。

メモ

次の方法でも、P-touch Transfer Manager を起動できます。

- Windows Vista® / Windows® 7 の場合： スタートボタンから、[すべてのプログラム]-[MAX P-touch]-[P-touch ツール]-[P-touch Transfer Manager 2.2]をクリックします。
 - Windows® 8 / Windows® 8.1 の場合：
[アプリ]画面で[P-touch Transfer Manager 2.2]をクリックします。
 - Windows® 10 の場合：
スタートボタンから[すべてのアプリ]を選択し、[MAX P-touch]下の[P-touch Transfer Manager 2.2]をクリックします。
-

メイン画面



1 メニューバー

各機能に従って、各メニュータイトル〔ファイル〕〔編集〕〔表示〕〔ツール〕〔ヘルプ〕の下にグループ化された様々な機能にアクセスします。

2 ツールバー

頻繁に使用する機能にアクセスします。

3 ラベルプリンターセクター

データ転送先のラベルプリンターを選択できます。ラベルプリンターを選択すると、選択したラベルプリンターに送信できるデータのみがデータリストに表示されます。

4 フォルダ表示

フォルダーとラベルプリンターのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択したフォルダー内のテンプレートデータがテンプレートデータリストに表示されます。ラベルプリンターを選択すると、ラベルプリンターに保存されている現在のテンプレートデータとその他データが表示されます。







5 テンプレートデータリスト

選択したフォルダー内のテンプレートデータのリストを表示します。

6 プレビュー

テンプレートデータのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	転送 (P-touch Transfer Managerのみ)	テンプレートデータやその他データをパソコンからラベルプリンター本体に登録します。
	転送ファイル保存 (ラベルプリンターを接続し	データのファイル形式を他のアプリケーションに転送されるように変更します。 使用できるインターフェイスは、お使いの機種によって異なります
	バックアップ (P-touch Transfer Managerのみ)	ラベルプリンターに保存されたテンプレートデータやその他データを検索し、パソコンに保存します。
	開く	選択したテンプレートデータを開きます。
	印刷 (P-touch Libraryのみ)	選択したテンプレートデータをラベルプリンターで印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートデータやその他データを検索できます。
	表示形式	ファイル表示形式を変更します。

パソコンからラベルプリンター本体へテンプレートデータを登録する

次の手順を使用して、テンプレートデータ、データベース、画像をパソコンからラベルプリンターに登録します。

- 1、USB ケーブル でパソコンとラベルプリンターを接続し、ラベルプリンターの電源を入れます。
- 2、P-touch Transfer Manager を起動します。

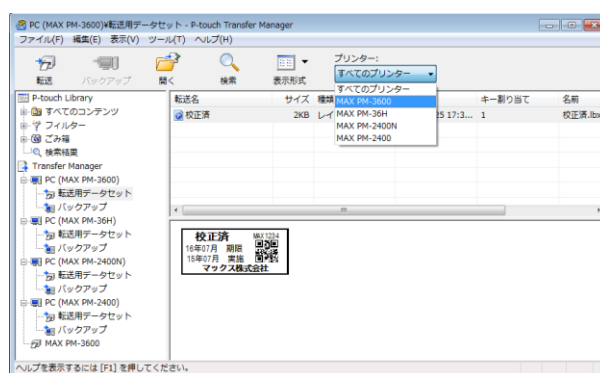
フォルダー表示のラベルプリンターアイコンの横に機種名が表示されます。

フォルダー表示のラベルプリンターを選択すると、現在のテンプレートデータとラベルプリンターに保存されているその他データが表示されます。

メモ

- ・ラベルプリンターが接続されていない、またはオフラインの場合は、フォルダー表示にラベルプリンター名は表示されません。
- ・データを転送する前に、パソコンとラベルプリンターがUSB ケーブルで正しく接続されていること、およびラベルプリンターの電源が入っていることを確認します。

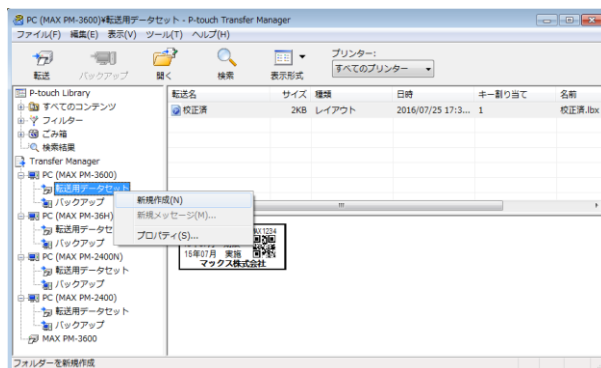
- 3、テンプレートデータやその他データの転送先であるラベルプリンターを選択します。



メモ

データを転送する前に、パソコンとラベルプリンターがUSB ケーブルで正しく接続されていること、およびラベルプリンターの電源が入っていることを確認します。

4、[転送用データセット]フォルダーを右クリックし、[新規作成]を選択し、新しいフォルダーを作成します。



上記の例では、[Transfer]フォルダーを作成しました。

5、転送するテンプレートデータやその他データをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。

転送機能仕様

データタイプ	転送可能な最大項目数	制限の詳細
テンプレート	99	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各テンプレートには最大 50 オブジェクトを収納できます。 ■ 各オブジェクトには最大 17 行まで収納できます。
データベース	99	<ul style="list-style-type: none"> ■ *.csv ファイルのみを転送できます。 <p>P-touch Editor でテンプレートデータにリンクされた データベースファイルは、自動的に .csv 形式に変換され、登録されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各 *.csvファイルは、最大 256フィールドと65000レコードを収納できます。
画像 (ユーザー定義文字)	99	<ul style="list-style-type: none"> ■ *.bmp ファイルのみを転送できます。 ■ モノクロ *.bmp ファイルを推奨します。 ■ サイズ制限は 2048 × 2048 ピクセルです。 ■ 幅の広い画像は切り捨てられる場合があります。

メモ

ラベルプリンター設定レポートを印刷することで、転送ファイルメモリーの空き領域を確認できます（本機の設定を確認する）（45 ページ）をご覧ください。

空き領域については、レポートの[RomFree]をご覧ください。¹

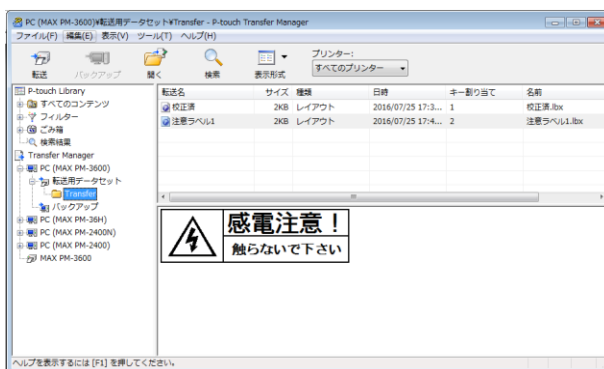
¹ 「RomFree = *****byte」に表示される空き領域は、実際の空き領域とは異なる場合があります。

下記のいずれかを選択すると、テンプレートデータやその他データを表示できます。

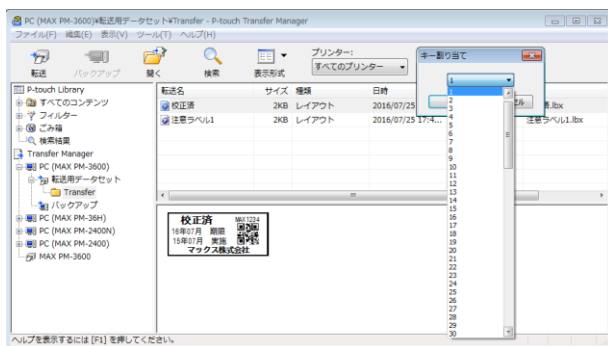
- ・ [転送用データセット]フォルダー内のフォルダー
- ・ [すべてのコンテンツ]
- ・ [レイアウト]など、[フィルター]下のカテゴリーの 1 つ

複数のテンプレートデータやその他データを転送する場合、転送するすべてのファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。

ファイルを新しいフォルダーに入れると、各ファイルにはキー番号（ラベルプリンター内のメモリー場所）が割り当てられます。



- 6、項目に割り当てられたキー番号を変更するには、項目を右クリックし、[キー割り当て]を選択して、希望のキー番号を選択します。

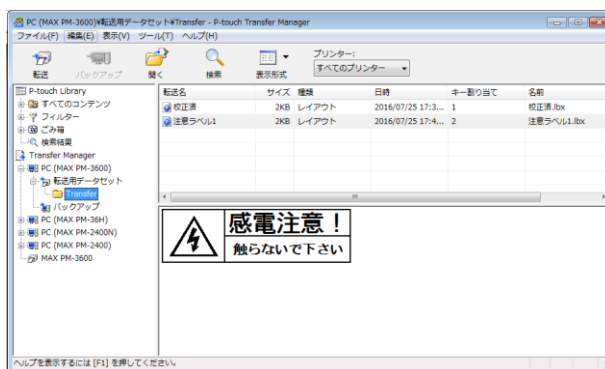


メモ

- データベースを除き、ラベルプリンターに転送される全データに、キー番号が割り当てられます。

- 7、転送するテンプレートデータやその他データの名前を変更するには、希望の項目をクリックして新しい名前を入力します。ラベルプリンターの機種によって、使用する文字数が制限される場合があります。

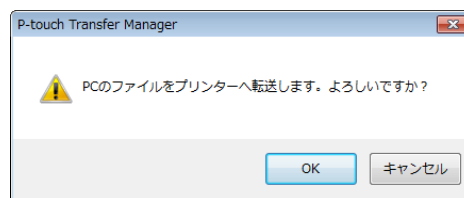
8、転送するテンプレートデータやその他データを含んだフォルダーを選択し、**[転送]**をクリックします。確認メッセージが表示されます。



メモ

- 個別の項目をフォルダーに追加せずに、転送することもできます。転送するテンプレートデータやその他データを選択し、**[転送]**をクリックします。
- 複数の項目とフォルダーを選択し、1回の操作で転送できます。

9、**[OK]**をクリックします。

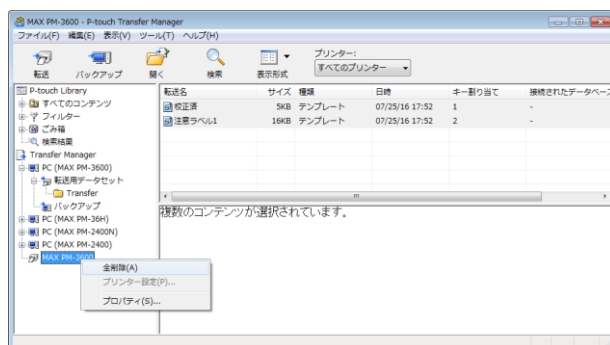


選択したデータがラベルプリンターに転送されます。

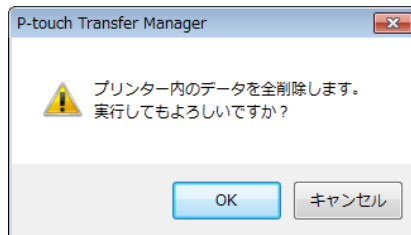
すべての登録済みデータを削除する

次の手順を使用して、ラベルプリンター本体に登録されたすべてのテンプレートデータやその他データを削除します。

- 1、パソコンとラベルプリンターを接続し、ラベルプリンターの電源を入れます。
フォルダー表示のラベルプリンターアイコンの横に機種名が表示されます。
- 2、ラベルプリンターを右クリックし、[全削除]を選択します。



確認メッセージが表示されます。



- 3、[OK]をクリックします。
ラベルプリンターに保存されているすべてのテンプレートデータとその他データが削除されます。

P-touch Library

このプログラムにより、パソコンを使用して P-touch Editor で作成したテンプレートファイルを管理できます。

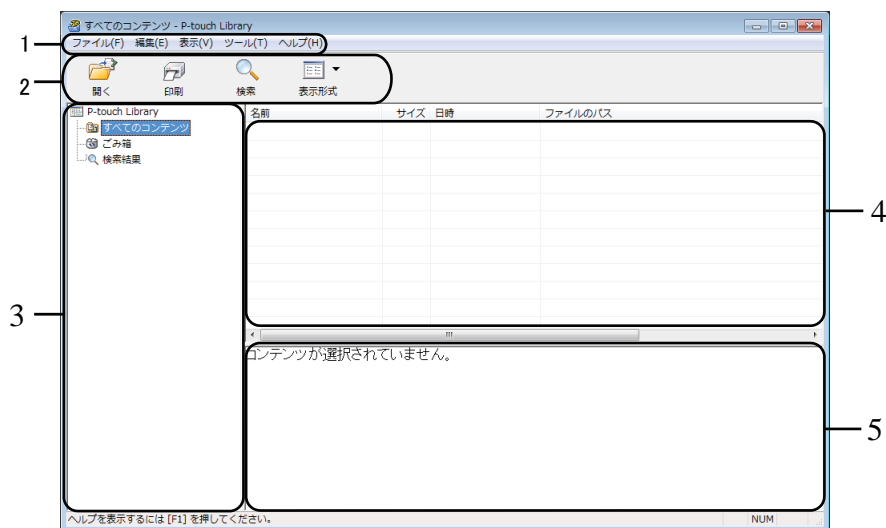
P-touch Library を使用してラベルを印刷できます。

P-touch Library を起動する

- Windows Vista® / Windows® 7の場合： スタートボタンから、[すべてのプログラム]-[MAX P-touch]-[P-touch ツール]-[P-touch Library 2.2]をクリックします。
- Windows® 8 / Windows® 8.1 / の場合：
[アプリ]画面で[P-touch Library 2.2]をクリックします。
- Windows® 10 の場合：
スタートボタンから[すべてのアプリ]を選択し、[MAX P-touch]下の[P-touch Library 2.2]をクリックします。

P-touch Library が起動すると、メイン画面が表示されます。

メイン画面



1 メニューバー

各機能に従って、各メニュータイトル〔**ファイル**〕、〔**編集**〕、〔**表示**〕、〔**ツール**〕、〔**ヘルプ**〕の下にグループ化された利用可能なすべての機能にアクセスします。

2 ツールバー

頻繁に使用する機能にアクセスします。

3 フォルダー表示

フォルダーのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択したフォルダー内のテンプレートデータがテンプレートデータリストに表示されます。





4 テンプレートデータリスト

選択したフォルダー内のテンプレートデータのリストを表示します。

5 プレビュー

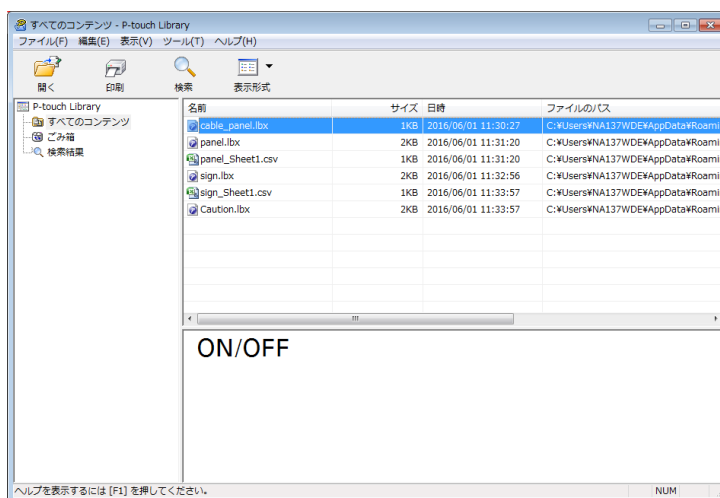
テンプレートデータのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	開く	選択したテンプレートデータを開きます。
	印刷 (P-touch Library のみ)	選択したテンプレートデータをラベルプリンターで印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートデータを検索できます。
	表示形式	ファイル表示形式を変更します。

テンプレートデータを開いて編集する

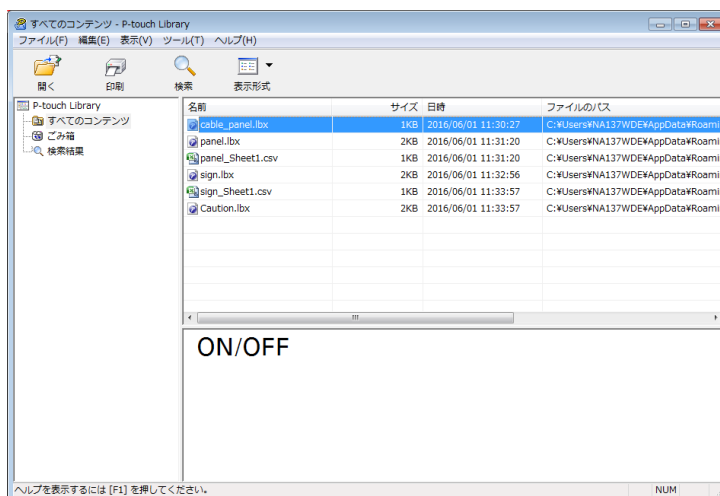
開く、または編集するテンプレートデータを選択し、[開く]をクリックします。



テンプレートデータに関連したプログラムが起動して、テンプレートデータを編集できます。

テンプレートデータを印刷する

印刷するテンプレートデータを選択し、[印刷]をクリックします。



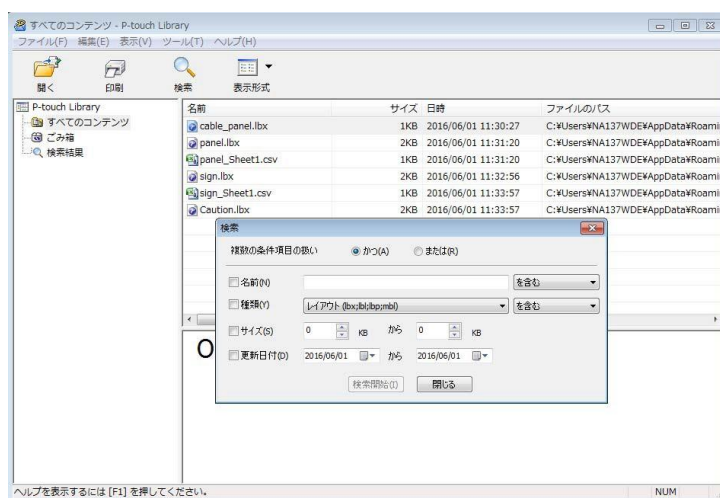
接続しているラベルプリンターから印刷されます。

テンプレートデータを検索する

P-touch Library に登録されたテンプレートデータを検索できます。

1、[検索]をクリックします。

[検索]ダイアログボックスが表示されます。



2、検索条件を指定します。

次の検索条件をご利用いただけます。

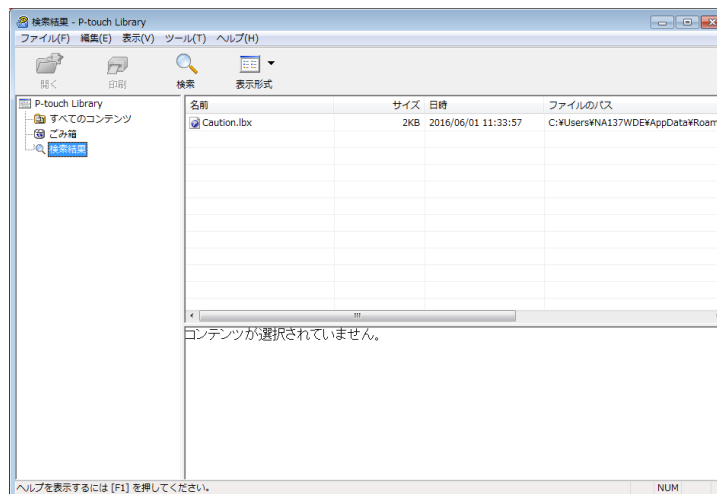
設定	詳細
複数の条件項目の扱い	複数の条件を指定するときにプログラムが検索する方法を決定します。[かつ]を選択すると、プログラムはすべての条件を満たすファイルを検索します。[または]を選択すると、プログラムはいずれかの条件を満たすファイルを検索します。
名前	ファイル名を指定することで、テンプレートデータを検索できます。
種類	ファイルの種類を指定することで、テンプレートデータを検索できます。
サイズ	ファイルのサイズを指定することで、テンプレートデータを検索できます。
更新日付	ファイルの日付を指定することで、テンプレートデータを検索できます。

3、[検索開始]をクリックします。

検索が開始します。

4、[検索]ダイアログボックスを閉じます。

検索結果は、フォルダービューの[検索結果]をクリックすることで確認できます。



メモ

テンプレートデータを[すべてのコンテンツ]フォルダーまたはフォルダーリストにドラッグアンドドロップすることで、P-touch Library に登録できます。次の手順を使用して、テンプレートデータをP-touch Library に自動的に登録するようP-touch Editor を設定することもできます。

- 1 P-touch Editor のメニューから、[ツール]- [オプション]を選択します。
- 2 [オプション]ダイアログボックスで、[全般]タブの[登録条件の設定]をクリックします。
- 3 P-touch Editor で作成したテンプレートデータを登録するタイミングを選択し、[OK]をクリックします。



付録







本機をリセットする	73
お手入れ	74
困ったときは	77
仕様	87
P-touch Transfer Manager 使用時の注意事項	90
P-touch Template 機能設定用バーコード一覧	92

本機の動作がうまくいかない場合やすべてのラベルファイルを削除したい場合は、初期設定に戻すことができます。

本機のボタンですべての設定を工場出荷時に戻す

すべてのテキスト、フォーマット設定、オプション設定、保存されたラベルファイルは本機をリセットすると削除されます（言語設定や単位設定も含まれます）。

本機をリセットするには次の手順で行います。

- 1、本機の電源を切ります。
- 2、（電源）ボタンと（フィード & カット）ボタンを同時に3秒以上押します。
ステータス表示ランプが緑色に（電源）表示ランプがオレンジ色に点滅します。
- 3、（電源）ボタンを押したまま、（フィード & カット）ボタンを押すことにより次のようにリセットされます：
 - 6回押すことで、通信設定と本体設定を工場出荷時に戻します。パソコンから転送されたデータも削除されます。
- 4、（電源）ボタンを離します。ステータス表示ランプが緑色に3回、（電源）表示ランプがオレンジ色に3回点滅します。

プリンター設定ツールでデータをリセットする

パソコンからプリンター設定ツールを使用して次の操作を本機に行えます：

- テンプレートデータやデータベースを削除する
- 印刷履歴を削除する
- 本体設定を工場出荷時にリセットする

詳しくは、「ラベルプリンターの設定を変更する」(16 ページ)をご覧ください。

性能を維持するために、定期的に本機のお手入れを行ってください。

**メモ**

本機をお手入れするときは、必ずACアダプターを抜いてください。

本機外観のお手入れ

本機のほこりや汚れは乾いた柔らかい布でふき取ってください。

汚れがひどいときは、水でぬらして固く絞った布でふき取ってください。

**メモ**

シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。

本機の表面が変形したり、損傷を受ける可能性があります。

印字ヘッドとヘッドローラーのお手入れ

印字ヘッドやヘッドローラーが汚れていると、ラベルに筋が入ったり印字品質が低下することがあります。乾いた綿棒や別売品のヘッドクリーニングテープ(LM-C536)を使用し、印字ヘッドのクリーニングを行ってください。

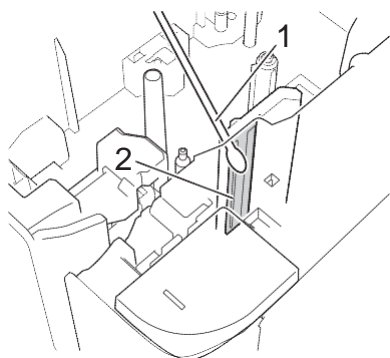
**警告**

印字ヘッドには直接手を触れないでください。印字ヘッドは熱くなる可能性があります。

**メモ**

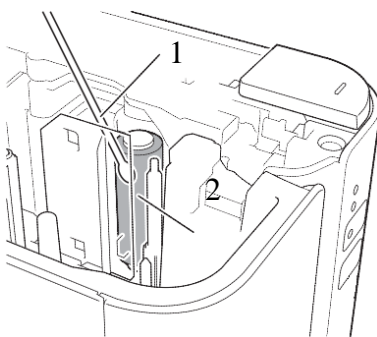
ヘッドクリーニングテープLM-C536の使用方法は、ヘッドクリーニングテープに付属の説明書をご覧ください。

印字ヘッド



- 1 綿棒
- 2 印字ヘッド

ヘッドローラー



- 1 綿棒
- 2 ヘッドローラー

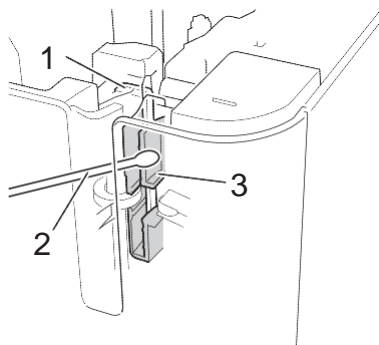
テープカッターのお手入れ

1年に1度程度、乾いた綿棒でカッター刃を拭いてください。

テープをカットし続けると、テープの粘着剤がカッター刃に付着して、切れ味が悪くなったり、テープづまりを起こしたりする可能性があります。



カッター刃には手を触れないでください。



- 1 カッター刃
- 2 綿棒
- 3 金属部分


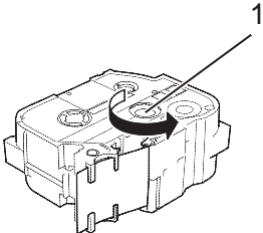
概要

本章では、ラベルプリンターの使用時によくある問題を解決する方法について説明します。ラベルプリンターに問題が起きた場合は、初めに次の内容について、正しく対応しているかどうかを確認してください。

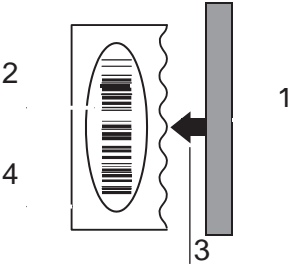
- ・ラベルプリンターが、電源供給をされていますか？（「電源を接続する」(4ページ)をご覧ください。）
- ・正しいプリンタードライバーを選択してインストールしていますか？（「プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする」(8ページ)をご覧ください。）
- ・ラベルプリンターをパソコンに接続していますか？（「本機とパソコンを接続する」(9ページ)をご覧ください。）
- ・ラベルプリンターのカバーが閉まっていますか？
- ・テープカセットが正しく装着されていますか？
（「テープカセットを装着する」(5 ページ)をご覧ください。）

まだ問題が解決しない場合、本章の困ったときの対処方法をお読みください。本章を読んだ後でも問題が解決しない場合は、弊社お客様相談ダイヤル(0120-510-200)へご相談ください。

印刷の問題

問題	原因または解決方法
本機で印刷できない。 書き込みエラーが表示される。	インターフェイスクーブルが正しく接続されているか、テープカセットが正しく装着されているか、カバーが正しく閉められているかをご確認ください。
印刷を中止したい。	本機の電源が入っていることを確認してから、前面にある  (電源) ボタンを一度、軽く押します。
ラベルが印刷できない。	ラベルに文字が入力されているか、または十分なテープ残量があるテープカセットが正しく装着されているかを確認してください。 テープが曲がっていたら、その部分を切り取ってください。テープ排出口にテープ先端を向けて正しく装着してください。 テープが詰まっていたら、テープカセットを取り出し、詰まっている部分を取り除いてください。テープの先端がテープガイドの下を通っていることを確認してから、装着し直してください。
ラベルが正しく印刷できない。	テープカセットを入れ直してください。テープカセットが正しく装着されるまで平らな状態で押し下げます。 印字ヘッドが汚れていたら、乾いた綿棒 (「印字ヘッドとヘッドローラーのお手入れ」(74 ページ)) またはヘッドクリーニングテープ (別売品: LM-C536) で掃除してください。
インクリボンがテープと一緒にテープ出口から出てきた。	インクリボンが切れている場合は、テープカセットを交換してください。そうでない場合は、テープを切らずにテープカセットを取り外し、図のように巻き取りスプールを回して、たるんだインクリボンを巻き取ってください。  1 巻き取りスプール
本機が印刷中に停止する。	テープの最後を示す縞模様のテープが見えた場合は、テープカセットを交換してください。
ラベルが自動でカットされない。	カット設定を確認してください。詳しくは、「カット設定」(10 ページ) をご覧ください。 あるいは(フィード & カット) ボタンを押してテープを送ってからカットしてください。
「困ったときは」の対処を行ってもテープ詰まりのエラーが解除されない。	弊社相談ダイヤル(0120-510-200)までお問い合わせください。

問題	原因または解決方法
より高い解像度で印刷したい。	高解像度印刷は、パソコンからの印刷で、黒色インクのレタリテープ（ただし 巻き付けテープは除く）または 高速・高解像度テープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタドライバーで高解像度モードを選択します。
小さい文字の印刷結果がかすれる。	<p>バーコードと小さい文字を含むラベルを印刷するときは、プリンタドライバーで品質優先モードに設定して印刷してください。バーコードを含まないラベルを印刷するときは、プリンタドライバーで高解像度モードに設定して印刷してください。小さな文字（6 ポイント相当以下）を鮮明に印刷することができます。ただし、印刷速度は遅くなります。</p> <p>品質優先モードは、パソコンからの印刷で、黒色インクのレタリテープ（ただし 巻き付けテープを除く）または 高速・高解像度テープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタドライバーで品質優先モードを選択します。</p> <p>P-touch Editor の印刷画面でも選択できます。</p>
高解像度、高速印刷、品質優先を設定しても、エラーが表示され、印刷できない。	<p>高解像度、高速印刷、品質優先は、黒色インクのレタリテープ（ただし 巻き付けテープは除く）または 高速・高解像度テープが装着されている場合に対応します。</p> <p>印刷ジョブをキャンセルして、高解像度・高速印刷をキャンセルしてエラーを解除してください。</p>

問題	原因または解決方法
<p>印刷されたバーコードが読めない。</p>	<p>図のように、バーコードが印字ヘッドに対して平行に印刷されるようにセットしてください：</p>  <p>1 印字ヘッド 2 バーコード 3 印刷方向 4 ラベル先端</p> <p>他のバーコードリーダーをお試しください。</p> <p>バーコード印刷の際は、[印刷品質]オプションで[標準]を選択して、印刷してください。</p> <p>バーコードと、小さい文字(6ポイント相当以下)を含むラベルを印刷する際は、[印刷品質]オプションで[品質優先]を選択して、印刷してください。</p> <p>Windows Vista®</p> <p>[印刷品質]オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。スタートボタン -[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[プリンター]をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして[印刷設定]をクリックします。</p> <p>Windows® 7</p> <p>[印刷品質]オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。スタートボタン -[デバイスとプリンター]をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして[印刷設定]をクリックします。</p> <p>Windows® 8/Windows® 8.1</p> <p>[印刷品質]オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。[アプリ]画面で[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイスとプリンター]をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして[印刷設定]をクリックします。</p> <p>Windows® 10</p> <p>[印刷品質]オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。スタートボタン -[設定]-[デバイス]-[デバイスとプリンター]をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして[印刷設定]をクリックします。</p>

困ったときは

問題	原因または解決方法
レタリテープを使用したらジャムが発生した。	<p>レタリテープをラベルプリンターから取り出し、ジャムの部分を取り除いてください。</p> <p>レタリテープの素材は軽くて柔らかいため、ラベル排出口の部品に触れてジャムを起こすことがあります。</p> <p>レタリテープを使用するときは、リボンがラベル排出口からまっすぐ排出されるようにラベルプリンターを設置してください。また、排出されたリボンが作業台から垂れ下がらないようにしてください。風でリボンがなびいたりしてラベル排出口の部品に触れるとジャムを起こすことがあります。</p> <p>上記に注意して印刷し、印刷中はリボンに触らないでください。</p>

ラベルの問題

問題	原因または解決方法
印刷中に、縞模様のテープが現れた。	<p>テープがなくなっています。</p> <p>新しいテープカセットを装着してください(「テープカセットを装着する」(5 ページ)をご覧ください)。</p>
印刷されたラベルの先端に約 22 mm の余白がある。	<p>印刷 1 枚目(連続印刷時は 1 枚目のみ)の前に約 22 mm 程度の余白が発生します。</p>
ラベルが自動でカットされない。	<p>P-touch Editor を使用して、オートカット、つなげて印刷または、特殊テープ設定を確認します。</p> <p>印刷後、ラベルプリンターからテープカセットを取り外して、テープをハサミでカットします。</p> <p>テープは、付属の取扱説明書をお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。</p>
ラベルに白筋が入る。	<p>印字ヘッドにほこりがついています。</p> <p>詳しくは、「お手入れ」(74 ページ)をご覧ください。印字ヘッドとヘッドローラーを掃除してください。</p>
ラベルをカットした後、ラベルが排出されない。	<p>カッター刃が汚れています。</p> <p>詳しくは、「お手入れ」(74 ページ)をご覧ください。カッター刃を掃除してください。</p>

本機の問題

問題	原因または解決方法
ⓧ(電源)表示ランプが点灯、点滅しない。	電源コードが正しく接続されているか、確認します。ⓧ(電源)表示ランプがまだ点灯、点滅しない場合は、販売店または弊社相談ダイヤルにお問い合わせください。
データ送信エラーがパソコンに表示される。	<p>ポート選択が間違っていないか。</p> <p>プリンターのプロパティ画面で「印刷するポート」リストから正しいポートを選択します。</p> <p>USB 接続の場合は、「USB00n」を選択します。</p> <p>別のユーザーがネットワーク経由で印刷していませんか？ 印刷しようとしたときに、他のユーザーが大量のデータを印刷していた場合、処理中の印刷が終了するまで、ラベルプリンターは新しい印刷ジョブを受け付けることができません。そのような場合は、他の印刷ジョブが完了してから、印刷ジョブを再度実行してください。</p> <p>パソコンとラベルプリンターの通信速度が異なっていませんか。詳しくは、「バーコードリーダーの通信速度設定」(15 ページ)をご覧ください。通信速度を変更してください。</p>
通信速度変更ウィザードやユーティリティ画面で通信速度が設定できない。	<p>エラー 99: パソコンが本機を認識できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源が入っていないことを確認します。 • インターフェイスクーブルが正しく接続されていることを確認します。 • 通信変更ウィザードで選択したCOMポートと接続しているCOMポートが合っていることを確認します。(パソコンによってはCOMポートを1つしか搭載していないのに、COM2になっているものがあります。) <p>エラー 1、エラー 5: パソコンのシリアルポートが使用できない状態になっています。</p> <p>他のシリアル接続機器が同じCOMポートを使用している場合は、印刷ができません。シリアル接続機器のポートを変更するか、使用していないCOMポートに本機を接続してください。</p>
本機を初期化したい、またはパソコンから転送したデータを消去したい。	<p>本機を初期化するには(電源)ボタンを長押しして、電源を切ります。</p> <p>(電源)ボタンと(フィード & カット)ボタンを3秒以上、同時に押します。</p> <p>(電源)ボタンを押し続けたまま、(フィード&カット)ボタンを6回押します</p> <p>本機が初期化されました。</p> <p>パソコンから転送されたデータは全て削除され、本機は工場出荷時の設定に戻ります。</p>
インストール時にエラーが発生した。	弊社お客様相談ダイヤル(0210-510-200)へお問い合わせください。

困ったときは



バージョン情報


問題	原因または解決方法
本体のファームウェアバージョンを知りたい。	次の手順で確認できます。 1 本機の電源を入れます。 2 (フィード & カット) ボタンを 10 秒以上、押します。 (24 mm 幅または 36 mm 幅のテープカセットを装着してください。)

表示ランプについて










表示ランプは点灯や点滅により本機の状態を示します。下記の記号は、本章で使用する表示ランプの色とパターンの意味を示しています。

● (緑) / ● (橙) / ● (赤)





















 /  /  表示ランプが各色で点滅

 表示ランプが各色で点灯または点滅したあと消灯 表示ランプ

● が消灯

本体の状態	ステータス	電源
・電源OFF	●	●
・電源OFF処理中	●	●
・アイドルモード ・初期化処理中モード ・テープ送り&カット中モード ・カバーオープンモード	●	●
・印刷中モード	●	●
・転送中モード 電源が点滅	●	
・クリーニング中モード 電源が点滅後点灯	●	
・システムエラー01・02・03 →本機の電源を切り、 電源を入れ直してください。		
・ブートモード	●	●
リセット選択モード(モード起動時)		●
リセット選択モード (回数選択: 1回・3回・5回)	●	●
リセット選択モード (回数選択: 2回・4回・6回)	●	●
リセット選択モード(リセット確定)		
ローラーホルダーエラー →テープカセットを正しく入れ直してください。		●
アダプターエラー		●

困ったときは

本体の状態	ステータス	電源
・印刷準備中モード		
・媒体未装着エラー ・テープエンドエラー		
・印刷開始時のカバーオープンエラー		
・ラベルフルカットエラー ・ラベルハーフカットエラー 高解像度/ドラフト印刷エラー →使用条件を確認してください		
・高温エラー		
・非対応テープエラー ・媒体間違いエラー		
・通信エラー ・メモリーフルエラー ・行数・文字サイズエラー		
テープカセット間違いエラー →正しいテープカセットが装着されているか 確認してください。		
データベース検索エラー		
テンプレートなしエラー		

表示ランプ警告

問題	原因または解決方法
バッファに受信済みデータあり	バッファ上に印刷データが溜まっています。最後までデータを受け取っていない場合、印刷は開始しません。 本機の電源を切り、電源を入れ直してください。
印字ヘッドのクールダウン中	印字ヘッドが非常に高温です。 本機は印刷を中止し、印字ヘッドが冷えてから印刷を再開します。ラベルを大量に印刷すると、印字ヘッドが非常に高温になる場合があります。 印字ヘッドが高温になると、ラベルに余分な印刷がされる場合があります。この現象を回避する、または発生頻度を減らすには、本機を密閉された場所ではなく、十分な換気を行える環境でご使用ください。 使用するカセットの種類やラベルに印字する内容によっては、クーリングが発生して通常より印刷時間がかかることがあります。 メモ 高所(3,048m/10,000 feet 以上)など空気濃度の薄いところでは、本機を冷やすために利用できる空気が薄いため、このような現象が起きやすくなります。
ブートモード中	問題を解決するために、販売店または弊社相談ダイヤルまでお問い合わせください。
テープカセットに関するエラー	以下を確認してください： ■正しいテープカセットを使用している。 ■十分なテープ残量がある。 ■テープカセットが正しく装着されている。
エラーの解除手順	エラーの解除手順 1 カバーを開け、再び閉めます。 2 エラーが解除されない場合は> (フィード & カット) ボタンを押します。 3 それでもエラーが解除されない場合は、本機の電源を切り、電源を入れ直してください。 4 それでもエラーが解除されない場合は、弊社相談ダイヤルまでお問い合わせください。

製品仕様

機種名	PM-3600
サイズ	
外形寸法	約 118 mm (幅) × 192 mm (奥行き) × 146 mm (高さ)
重量(テープカセット、)	約 1480g(テープカセット、ケーブル未装着時)
表示ランプ	
ステータス表示ランプ、カバー表示ランプ、電源表示ランプ	
ボタン	
電源ボタン、フィード & カットボタン	
印刷	
印刷方式	熱転写方式
印字ヘッド	454 dot / 360 dpi
印刷解像度	標準印刷: 360 dpi × 360 dpi 高解像度モード: 360 dpi × 720 dpi ¹ 高速モード: 360 dpi × 180 dpi ¹ 品質優先モード: 360 dpi × 360 dpi ¹
印字速度	黒色インクの レタリテープ(巻き付けテープを除く)使用時 <ul style="list-style-type: none"> ■ 「標準」印刷: 最高 60 mm/ 秒 ■ 「高解像度」印刷: 最高 30 mm/ 秒 ■ 「高速」印刷: 最高 80 mm/ 秒 ■ 「品質優先」印刷: 最高 30 mm/ 秒 実際の印字速度は、お使いのカセット、使用環境、印字内容によって異なります。
対応カセット(幅)	<ul style="list-style-type: none"> ■ :レタリテープ 6 mm、9 mm、12 mm、18 mm、24 mm、36 mm

1、高解像度モード、高速モード、または品質優先モードは、ACアダプタを使用し、黒色インクリボンのレタリテープ、又は高速・高解像度テープが装着されている場合に対応します。

機種名	PM-3600
最大印字高さ	36 mm 幅テープ使用時:32.0 mm 24 mm 幅テープ使用時:22.6 mm 18 mm 幅テープ使用時:16.5 mm 12 mm 幅テープ使用時:10.6 mm 9 mm 幅テープ使用時:7.5 mm 6 mm 幅テープ使用時:4.5 mm
最小印字長	4 mm (4 mm の位置でのフルカットはできません。フルカットでの最小間隔は 22 mm です。) 印刷 1 枚目 (連続印刷時は 1 枚目のみ) の前に 22 mm 程度の余白が発生します。
インターフェイス	
USB ポート	Version 2.0 Full Speed (周辺装置)
シリアルポート	拡張型シリアルポート (同梱品のシリアルケーブル変換アダプターを使用することで、RC-232C D-sub 9 ピン オス型コネクタに変換)
電源	
アダプター	AC アダプター (PM-AD3600):24 V AC 100 - 240V 50/60 Hz
自動電源オフ	AC アダプター (PM-AD3600):なし 電源オフ設定を変更するには、「ラベルプリンターの設定を変更する」(16ページ)をご覧ください。
消費電力	印刷時最大:約 63.6W、待機時:約 0.9W、電源 OFF 時:約 0.3W
その他	
カッター	自動フルカッター / 自動ハーフカッター (ラミネートテープ使用時のみ有効)
環境 動作 温度/湿度	使用時:10° C ~ 35° C / 20% ~ 80% (結露なきこと) 最大湿球温度 :27° C

動作環境

項目	仕様	
オペレーションシステム	Windows®	Windows Vista® / Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 / Windows® 10
ハードディスク	Windows®	ディスク空き容量:700 MB 以上
メモリー	Windows®	Windows Vista® :512 MB 以上 Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 / Windows® 10 :1 GB 以上 (32-bit)または 2 GB 以上 (64-bit)

対応するオペレーションシステムは変更される場合があります。最新情報については、弊社ホームページ (<http://www.max-ltd.co.jp/op>) をご覧ください。

弊社ホームページでは、下記の情報をご案内しています：

- ・ソフトウェアのダウンロード
- ・各取扱説明書 / ドキュメント
- ・よくあるご質問(Q&A)(困ったときの対処方法、便利な機能)
- ・消耗品のご案内
- ・最新対応OSについての情報ウェブサイトの項目、内容は予告なく変更する場合があります。

P-touch Transfer Manager使用時の 注意事項

本機では使えない機能もあるため、P-touch Editor でテンプレートデータを作成するときは以下の点に注意してください。

作成したテンプレートデータを本機に転送する前に、どのように印刷されるか確認することができます。詳しくは、「P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する」(58ページ)をご覧ください。

テンプレートデータ作成時の注意事項

- ・本機には、3 種類のフォントが搭載されています。転送されたテンプレートデータの文字によっては、本機に搭載された似たフォントとサイズに置き換わって印刷されることがあります。そのため、印刷したラベルが P-touch Editor で作成したイメージとは異なる可能性があります。
- ・テキストオブジェクトの設定によっては、文字のサイズが縮小されたり、印字されなかつたりすることがあります。この場合は、テキストオブジェクトの設定を変更してください。
- ・P-touch Editor で個々の文字に別々の書式を設定しても、本機ではブロックごとに同じ書式が設定されます。さらに、本機では対応していない文字書式もあります。
- ・ラベルプリンター本体へ登録後に内容を変更しないで印刷するテキストオブジェクトは、P-touch Editor で編集禁止の設定をしてください。
テキストボックスを選択して右クリックし、[プロパティ]を選択して[テキストのプロパティ]画面を表示させ、[拡張]タブで[文字の編集を禁止する]にチェックを入れます。
- ・P-touch Editor で背景の設定をしても、本機では対応していません。
- ・P-touch Editor でスプリット印刷機能(複数のラベルを並べると大きな文字のラベルになるように印刷する機能)を使って作成したテンプレートデータは、本機に登録できません。
- ・印刷範囲内のラベルだけ印刷されます。
- ・印刷範囲からはみ出した部分は印刷されない場合があります。

テンプレートデータ転送時の注意事項

- ・印刷したラベルは、P-touch Transfer Manager のプレビューで確認したイメージとは異なる可能性があります。
- ・本機が対応していないバーコードを転送した場合、二次元コードは画像に変換されます。画像に変換されたバーコードは編集できません。回転した一次元バーコードを含むテンプレートデータの場合は、エラーとなり転送できません。
- ・本機で編集できないオブジェクトが転送されると、すべて画像に変換されます。
- ・グループ化されたオブジェクトは 1 つの bitmap データとして変換されます。

テンプレートデータ以外のデータを転送する際の注意事項

- ・データベースの番号や順番を変更して、その更新をするためにデータベース(*.csvファイル)だけを転送すると、テンプレートデータと正しくリンクされない場合があります。さらに、本機に認識させるため、転送ファイルの 1 行目のデータは「フィールド名」にする必要があります。
- ・本機に転送されたロゴ、シンボル、画像データは、すでに本機に保存されているフォントやシンボルのように自動的にサイズ調整されます。

P-touch Template 機能基本的な手順

P-touch Template 機能を使用する際の基本的な流れを説明します。

各設定の詳しい手順については、「P-touch Template を使用してラベルを印刷する」(29 ページ)をご覧ください。

本機にバーコードリーダーを接続する前に、事前準備として P-touch Template 設定ツールとバーコードリーダーの設定が一致していることを確認してください。詳しくは、「事前準備」(30ページ)をご覧ください。

- 1、P-touch Editor を使用して、テンプレートデータを作成し、本機へ登録します。
- 2、本機とバーコードリーダーを接続します。
- 3、設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド(初期設定 + 設定開始)」バーコードを読み取ります。
設定の開始もしくは以前の設定を消去します。
- 4、「基本設定」バーコードを読み取ります。
印刷枚数を設定します。
- 5、各機能別の設定を行います(A、B、またはC)。
 - A. 定型テンプレート印刷機能
 - 1 「定型テンプレート番号」バーコードを読み取ります。
 - B. バーコード作成(コピー)印刷機能
 - 1 「テンプレート選択」と「テンキー入力」バーコードの数字バーコードを読み取ります。
 - 2 作成、または複製したいバーコードを読み取ります。
 - 3 「印刷開始」バーコードを読み取ります。
 - C. データベース置換印刷機能
 - 1 「テンプレート選択」と「テンキー入力」バーコードの数字バーコードを読み取ります。
 - 2 データベースファイルのデータに置き換えるためにキーワードのバーコードを読み取ります。
 - 3 「デリミタ」バーコードを読み取ります。
 - 4 「印刷開始」バーコードを読み取ります。
- 6、指定したラベルが印刷されます。

設定用バーコード一覧

「P-touch Template を使用してラベルを印刷する」(29 ページ)で使用する設定用バーコードです。

メモ

- この一覧のバーコードを使用するときは、P-touch Template 設定の初期設定として「P-touch Template 印刷の制御」と「プレフィクス文字コマンド」を設定してください。
- コマンド読み込み用バーコードとして普通紙に印刷して使用する場合は、高解像度で印刷してください。印刷状況によっては、本書に掲載しているサンプルバーコードが読み取れない可能性がありますのでご注意ください。

・ P-touch テンプレートコマンド(初期設定 + 設定開始)



Escia3^II

・ 基本設定

オートカットあり



^CF01

オートカットなし



^CF00

ハーフカットあり



^CH1

ハーフカットなし



^CHO

つなげて印刷あり



^CP1

つなげて印刷なし



^CPO

ミラー印刷あり



^MP1

ミラー印刷なし



^MPO

印刷枚数



^CN

・ テンキー入力



・ 定型テンプレート番号

定型テンプレート 1



定型テンプレート 2



定型テンプレート 3



定型テンプレート 4



定型テンプレート 5



定型テンプレート 7



定型テンプレート 9



定型テンプレート 6



定型テンプレート 8



定型テンプレート 10



・ テンプレート選択



・ ナンバリング印刷枚数コマンド



・ デリミタ



・ テンプレートデータ初期化



・ 印刷開始



¹ 印刷枚数設定、テンプレート番号選択時に使用します。
[0][0][7],[0][1][5]のように 3 桁になるように読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。
設定を変更するには、印刷枚数の場合は「印刷枚数」、テンプレート番号の場合は「テンプレート選択」を読み取ってから、もう一度、3 桁の数字を読み取ってください。

MAX